

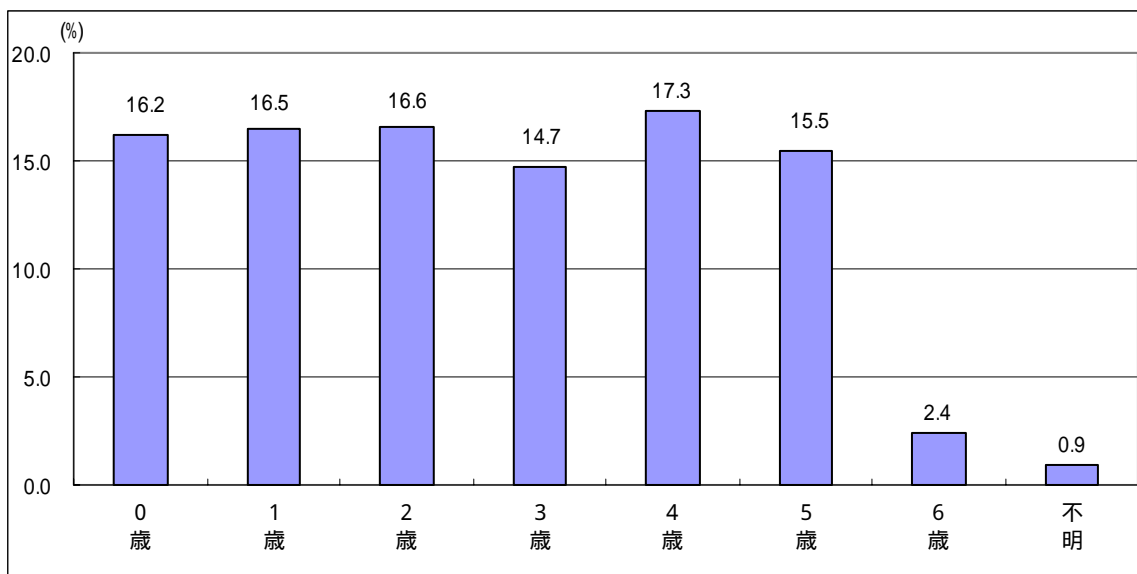
第2章 母子保健サービスに関するアンケート

1. 回答者の属性

(1) 子どもの年齢

回答者の子どもの年齢は、「0歳」～「5歳」まで各々概ね15%程度となっています。

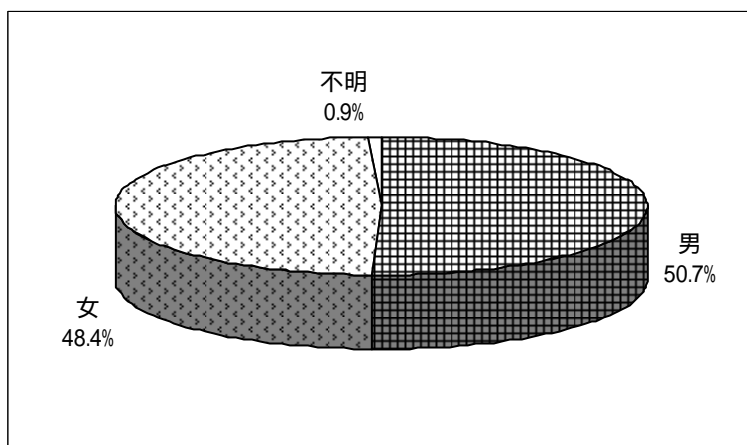
図表 1 子どもの年齢 [N=1,571]



(2) 子どもの性別

回答者の子どもの性別は、「男」が50.7%、「女」が48.4%となっています。

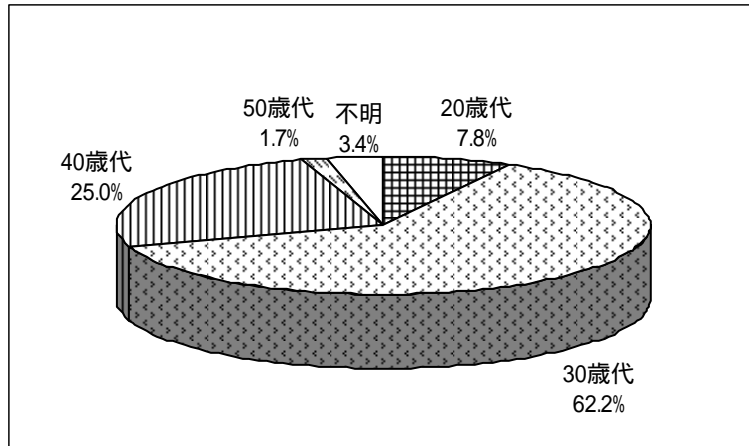
図表 2 子どもの性別 [N=1,571]



(3) 父親の年齢

父親の年齢は、「30歳代」が62.2%と最も多く、次いで、「40歳代」が25.0%となっています。

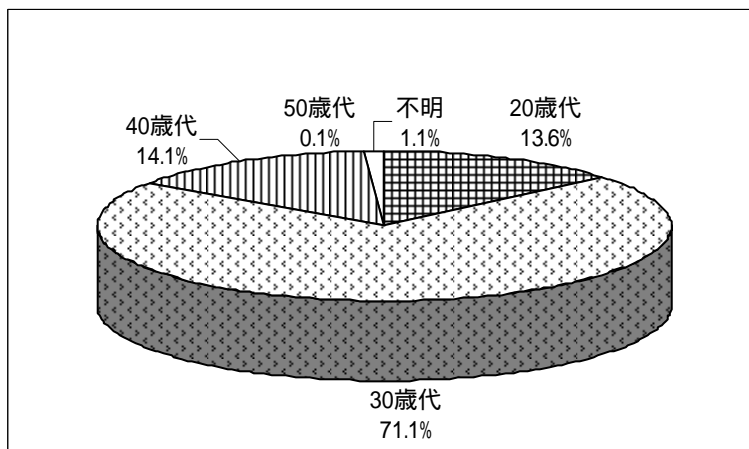
図表 3 父親の年齢 [N=1,571]



(4) 母親の年齢

母親の年齢は、「30歳代」の割合が71.1%と最も多く、次いで、「40歳代」が14.1%、「20歳代」が13.6%となっています。

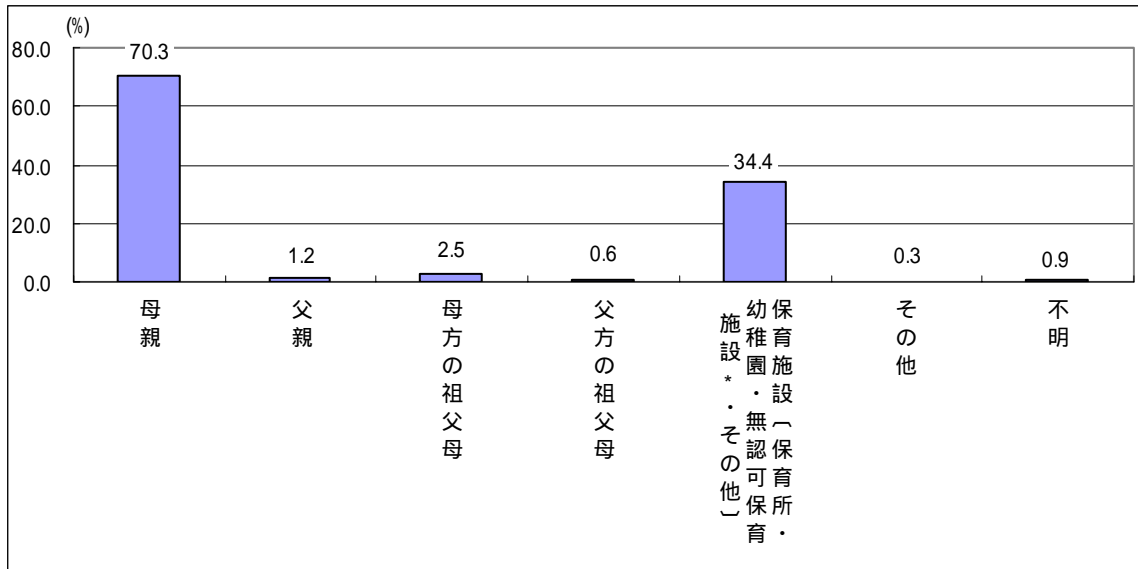
図表 4 母親の年齢 [N=1,571]



(5) 昼間の主な保育者

昼間の主な保育者については、「母親」の割合が70.3%と最も多く、次いで、「保育施設」が34.4%となっています。

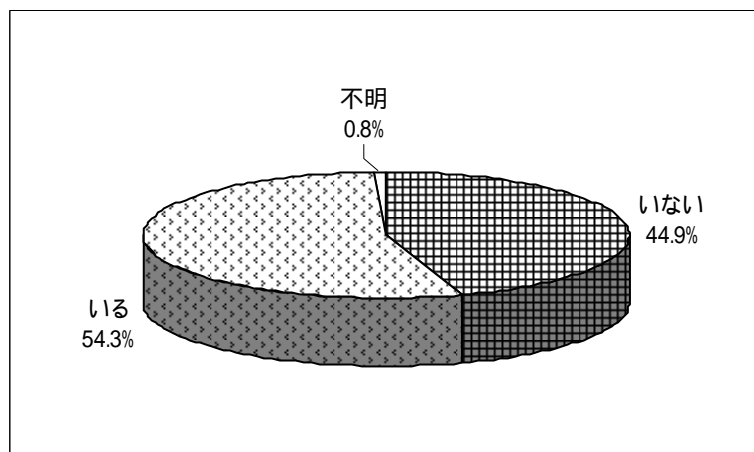
図表 5 昼間の主な保育者 [N=1,571] (複数回答)



(6) きょうだいの有無

きょうだいの有無については、「いる」が54.3%と、「いない」の44.9%をやや上回っています。

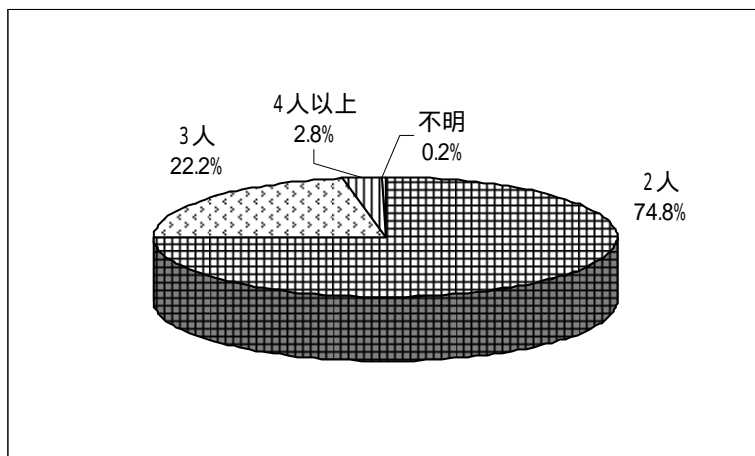
図表 6 きょうだいの有無 [N=1,571]



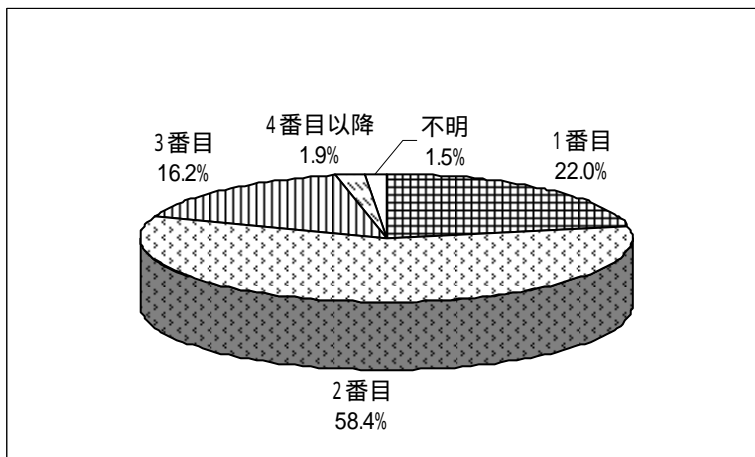
(7) きょうだいの人数・生まれた順番

きょうだいがいるという回答者にきょうだいの人数についてきいたところ、「2人」の割合が74.8%と最も多く、次いで、「3人」が22.2%となっています。回答の対象となった子どもの生まれた順番については、「2番目」が58.4%と最も多くなっています。

図表 7 きょうだいの人数 [N=853]



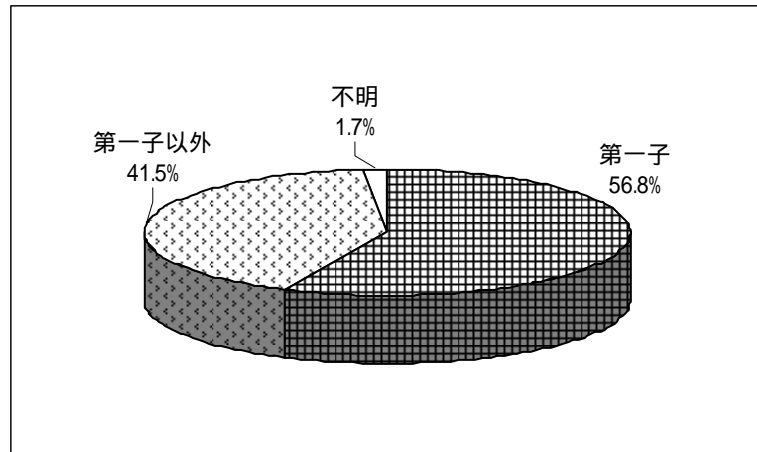
図表 8 きょうだいの順番 [N=853]



(8) 第一子か否か

アンケート調査対象となっている子どもが第一子かどうかについては、「第一子」が56.8%と、「第一子以外」の41.5%をやや上回っています。

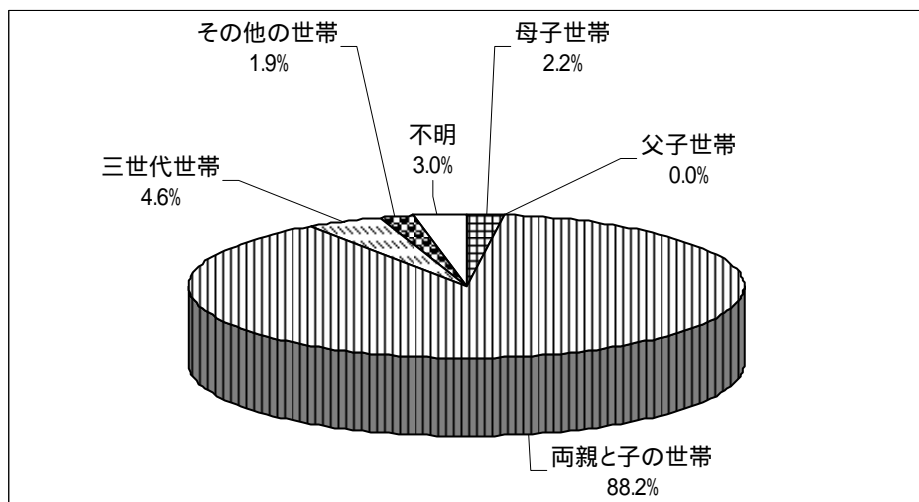
図表 9 第一子か否か [N=1,571]



(9) 家族構成

家族構成については、「両親と子の世帯」が88.2%と多く、「三世代世帯」は4.6%、「母子世帯」は2.2%となっています。

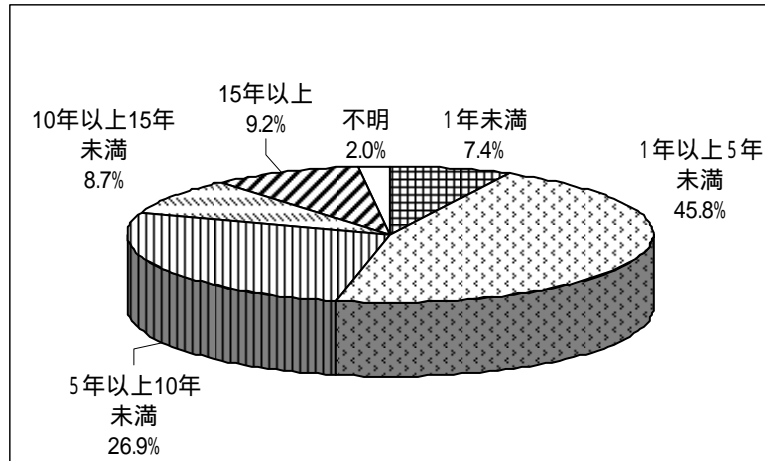
図表 10 家族構成 [N=1,571]



(10) 本市における在住年数

本市における在住年数については、「1年以上5年未満」が45.8%と最も多く、次いで、「5年以上10年未満」が26.9%となっています。

図表 11 本市における在住年数 [N=1,571]

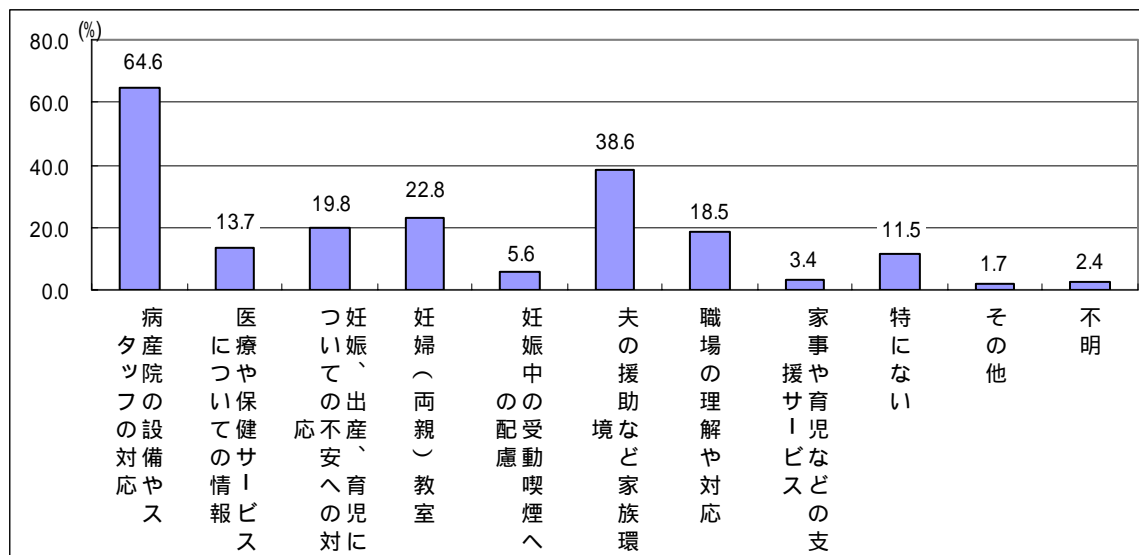


2. 妊娠・出産・育児について

(1) 妊娠・出産に関して満足できた点

妊娠・出産に関して満足できた点として、「病産院の設備やスタッフの対応」が64.6%と最も多く、次いで、「夫の援助など家族環境」が38.6%と続いています。

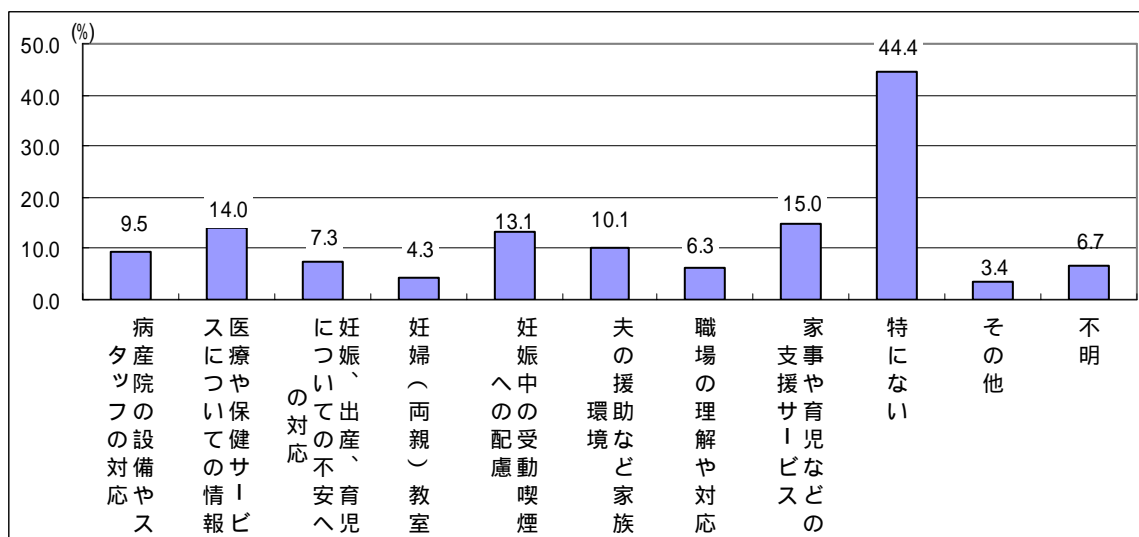
図表 12 妊娠・出産に関して満足できた点 [N=1,571] (複数回答)



(2) 妊娠・出産に関して満足できなかった点

妊娠・出産に関して満足できなかった点としては、「特になし」が44.4%と多く、一方で「家族や育児などの支援サービス」が15.0%、次いで、「医療や保健サービスに関する情報」が14.0%、「妊娠中の受動喫煙への配慮」が13.1%となっています。

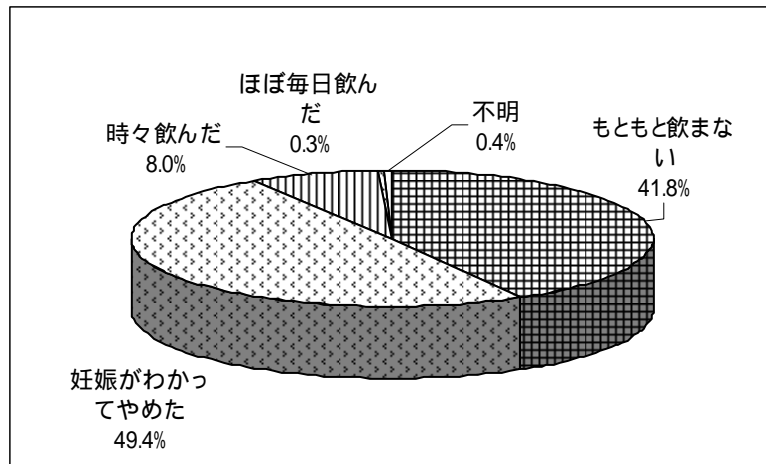
図表 13 妊娠・出産に関して満足できなかった点 [N=1,571] (複数回答)



(3) 妊娠中の飲酒状況

妊娠中の飲酒状況についてきいたところ、「妊娠がわかってやめた」が49.4%と多く、次いで、「もともと飲まない」が41.8%となっています。一方で、「時々飲んだ」という回答も8.0%みられます。

図表 14 妊娠中の飲酒状況 [N=1,571]

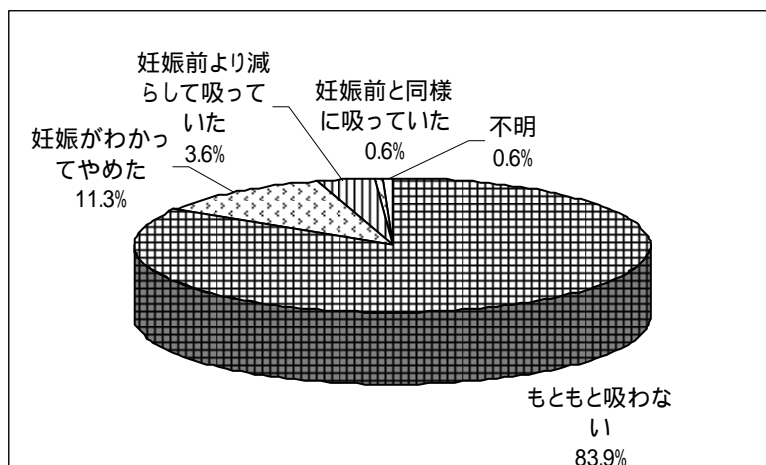


(4) 妊娠中の喫煙状況

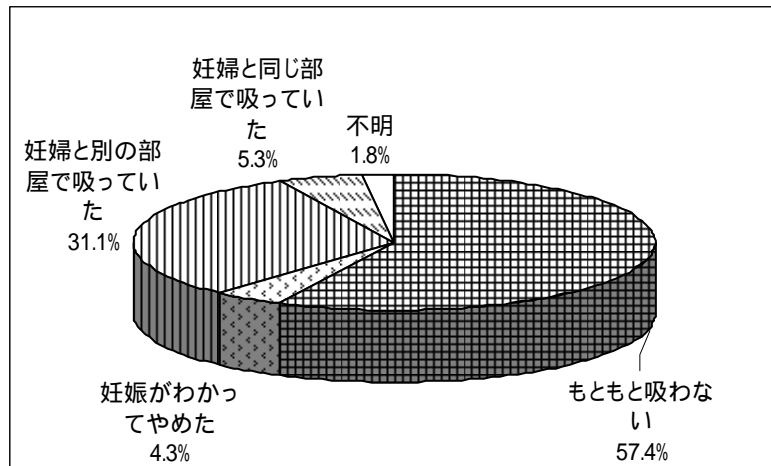
妊娠中の喫煙状況について、妊婦自身は、「もともと吸わない」が83.9%と最も多く、次いで、「妊娠がわかってやめた」が11.3%となっています。

家族については、「もともと吸わない」が57.4%と多くなっています。一方、「妊婦と別の部屋で吸っていた」という回答は31.1%となっています。

図表 15 妊娠中の喫煙状況 (妊婦) [N=1,571]



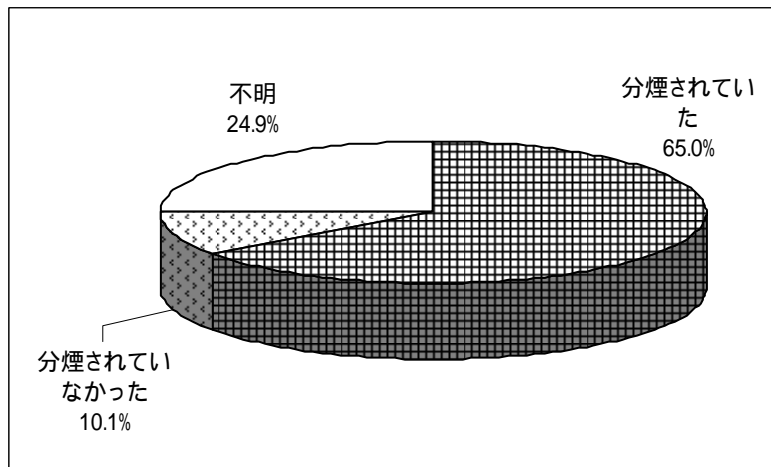
図表 16 妊娠中の喫煙状況（家族） [N=1,571]



(5) 勤務先の分煙状況

妊娠中就業していた人に勤務先の分煙状況についてきいたところ、「分煙されていた」が65.0%、「分煙されていなかった」が10.1%となっています。

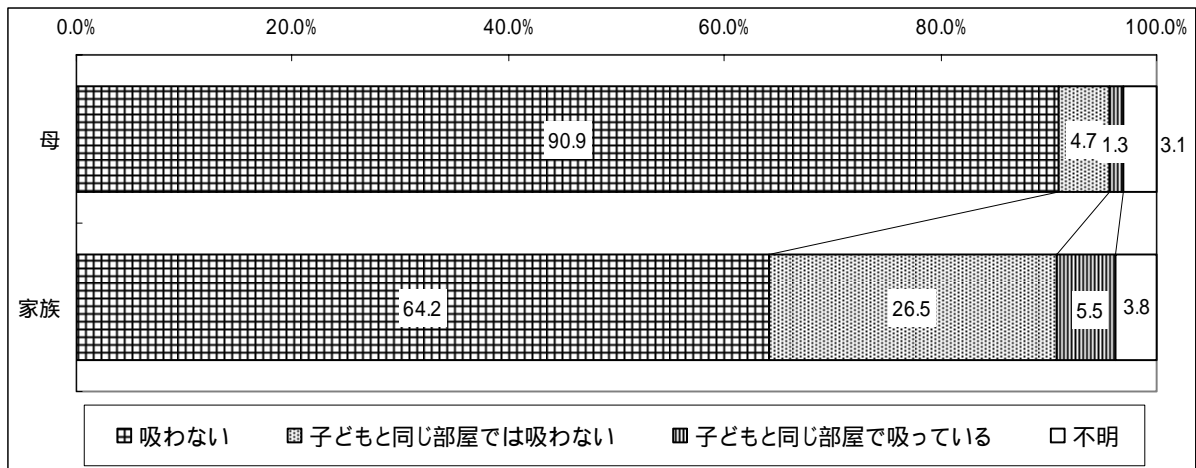
図表 17 勤務先の分煙状況 [N=595]



(6) 育児中の喫煙状況

育児中の喫煙状況についてきいたところ、母親は「吸わない」という回答が90.9%ですが、家族では「吸わない」が64.2%、「子どもと同じ部屋で吸わない」が26.5%となっています。

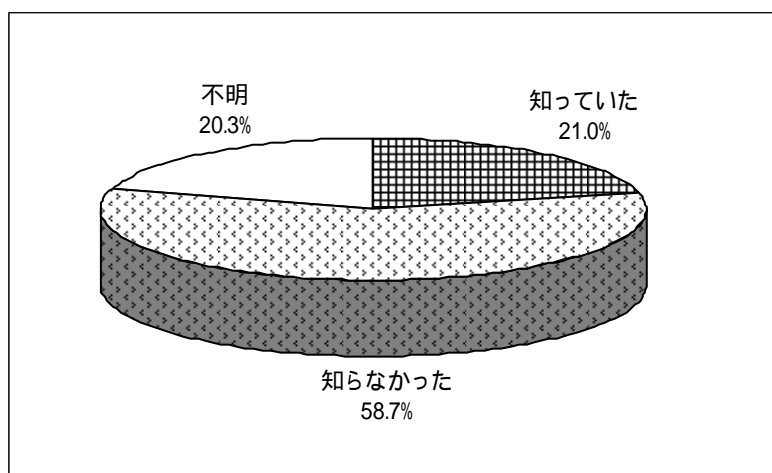
図表 18 育児中の喫煙状況 [N=1,571]



(7) 母性健康管理指導事項連絡カードの認知度

妊娠中就業していた人に母性健康管理指導事項連絡カードについてきいたところ、「知らなかった」が58.7%と、「知っていた」の21.0%を上回っています。

図表 19 母性健康管理指導事項連絡カードの認知度 [N=595]

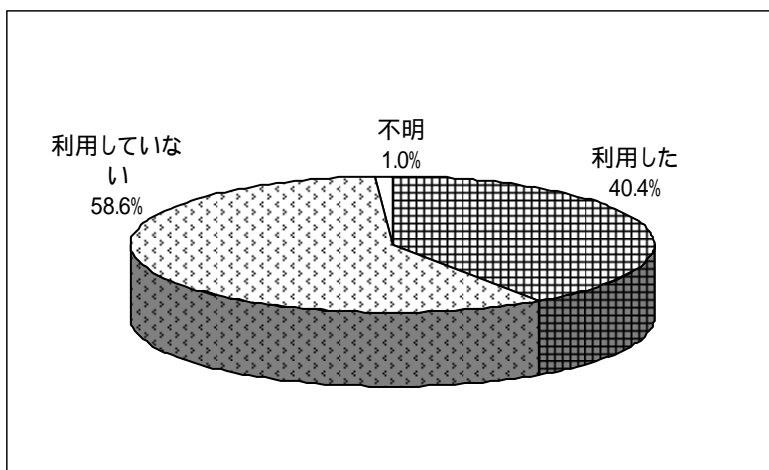


(8) 「マタニティマーク」の利用経験

「マタニティマーク」のストラップやバッジなどの利用経験については、「利用していない」が58.6%と、「利用した」の40.4%をやや上回っています。

第一子について回答した人では、「マタニティマーク」を「利用した」割合が53.3%を超えています。一方、「第一子以外」での利用者は23.5%となっています。

図表 20 マタニティマークの利用経験 [N=1,571]



図表 21 第一子が否か×マタニティマークの利用経験 [N=1,571]

[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	利用した	利用していない	無回答
合計	1,571	635	920	16
	100.0	40.4	58.6	1.0
第一子	893	476	408	9
	100.0	53.3	45.7	1.0
第一子以外	652	153	494	5
	100.0	23.5	75.8	0.8
無回答	26	6	18	2
	100.0	23.1	69.2	7.7

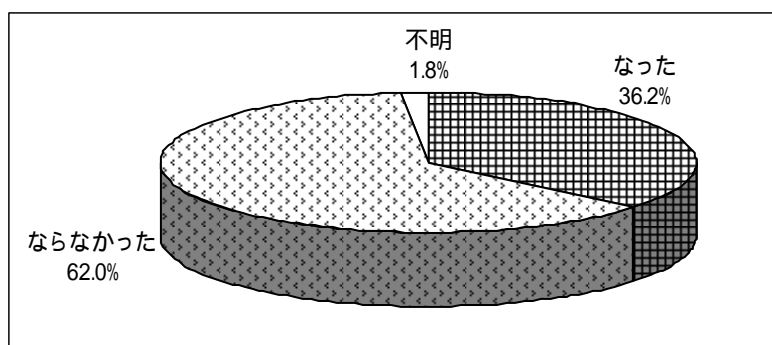
(9) マタニティブルーの状況

マタニティブルーの状況については、「ならなかった」が62.0%、「なった」が36.2%となっています。

「第一子」では、マタニティブルーになった人が44.6%となっています。一方、「第一子以外」でのマタニティブルーになった人は25.2%となっています。

マタニティブルーになった人にマタニティブルーへの対処方法についてきいたところ、「家族に相談した」が57.3%と多く、次いで、「友人に相談した」が32.3%となっています。一方、「特に何もしなかった」人も25.7%います。

図表 22 マタニティブルーの状況 [N=1,571]

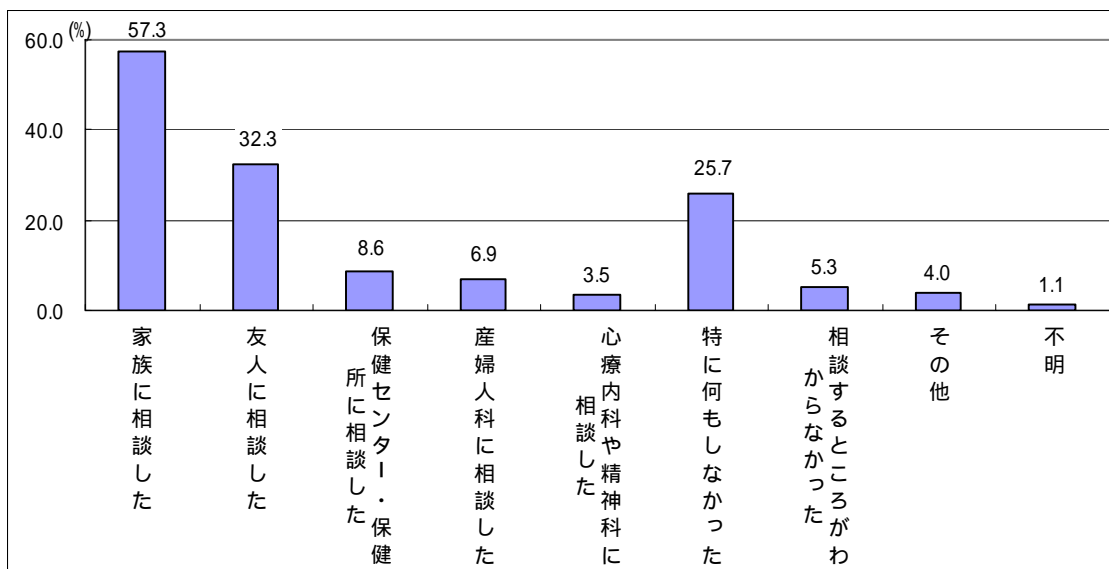


図表 23 第一子か否か×マタニティブルーの状況 [N=1,571]

[単位：(上段)件 / (下段)%]

	合計	なった	ならなかった	無回答
合計	1,571	569	974	28
	100.0	36.2	62.0	1.8
第一子	893	398	478	17
	100.0	44.6	53.5	1.9
第一子以外	652	164	479	9
	100.0	25.2	73.5	1.4
無回答	26	7	17	2
	100.0	26.9	65.4	7.7

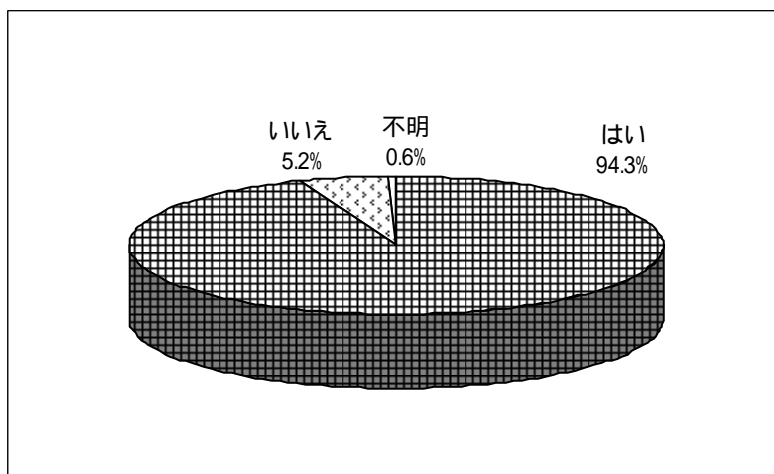
図表 24 マタニティブルーへの対処方法 [N=569] (複数回答)



(10) 生後1か月時点での母乳の状況

生後1か月時点で母乳を与えていたかどうか聞いたところ、「はい」という回答が94.3%と、「いいえ」の5.2%を大きく上回っています。

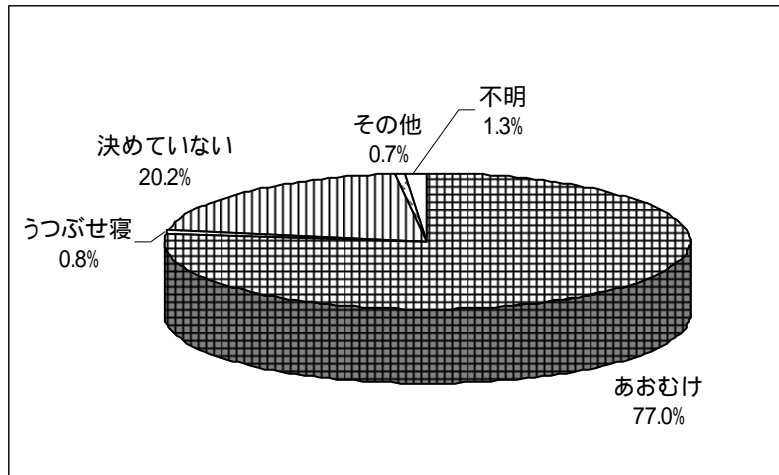
図表 25 生後1か月時点での母乳の状況 [N=1,571]



(11) 生後1歳までの子どもの寝かせ方

生後1歳までの子どもの寝かせ方については、「あおむけ」が77.0%と最も多く、次いで、「決めていない」が20.2%となっています。

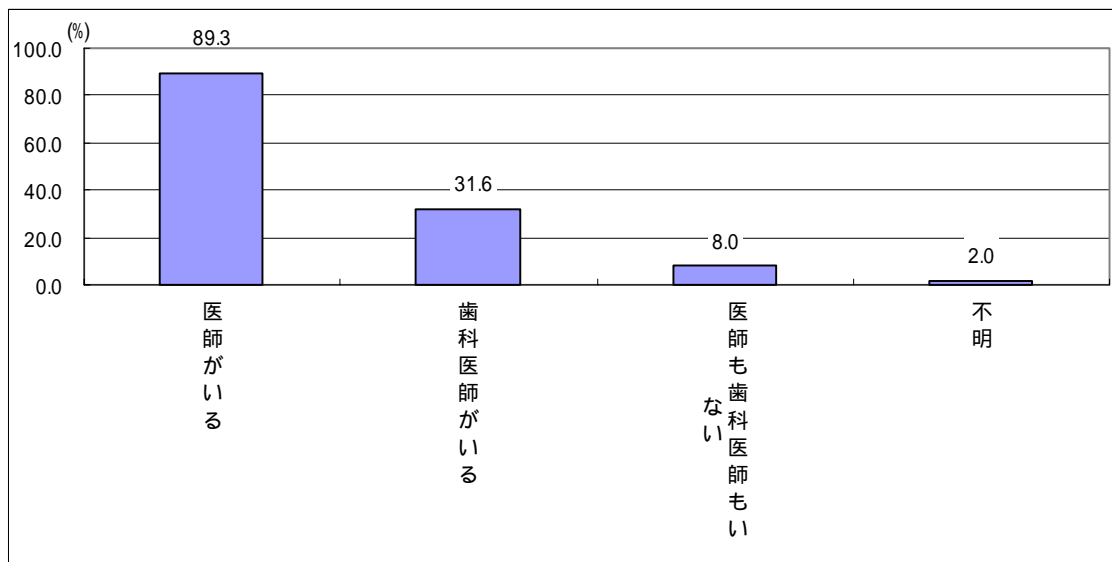
図表 26 生後1歳までの子どもの寝かせ方 [N=1,571]



(12) 子どものかかりつけ医・歯科医の有無

子どものかかりつけ医・歯科医の有無についてきいたところ、「医師がいる」という回答が89.3%となっていますが、「歯科医師がいる」という回答は31.6%となっています。

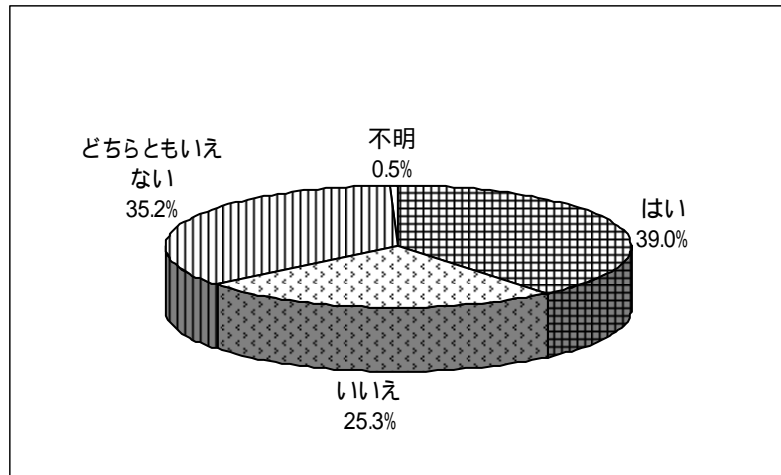
図表 27 子どものかかりつけ医・歯科医の有無 [N=1,571] (複数回答)



(13) 子どものかかりつけ医への相談の有無

子どものかかりつけ医のいる人に、かかりつけ医に育児の悩みや不安を相談できるかをきいたところ、相談できる医師がいる割合(「はい」という回答)が39.0%と多くなっています。

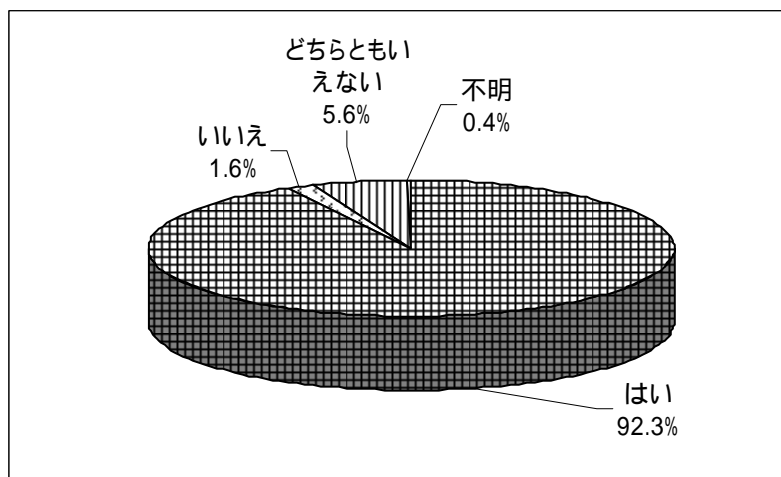
図表 28 子どものかかりつけ医への相談の有無 [N=1,403]



(14) 子どものかかりつけ歯科医への相談の有無

子どものかかりつけ歯科医のいる回答者に、歯科健診やむし歯予防の相談ができるか否かについてきいたところ、92.3%の人が相談できる(「はい」という回答)としています。

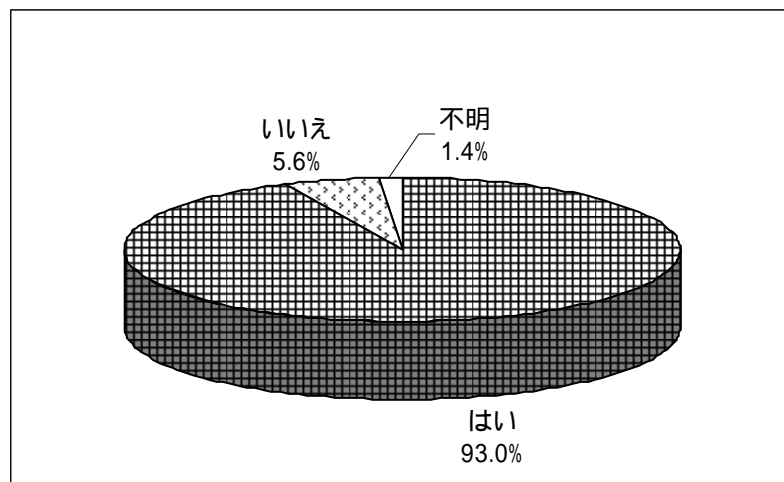
図表 29 子どものかかりつけ歯科医への相談の有無 [N=496]



(15) 休日・夜間の小児救急病院の認知度

休日・夜間の小児救急病院の認知度については、知っている割合(「はい」という回答)が93.0%となっています。

図表 30 休日・夜間の小児救急病院の認知度 [N=1,571]

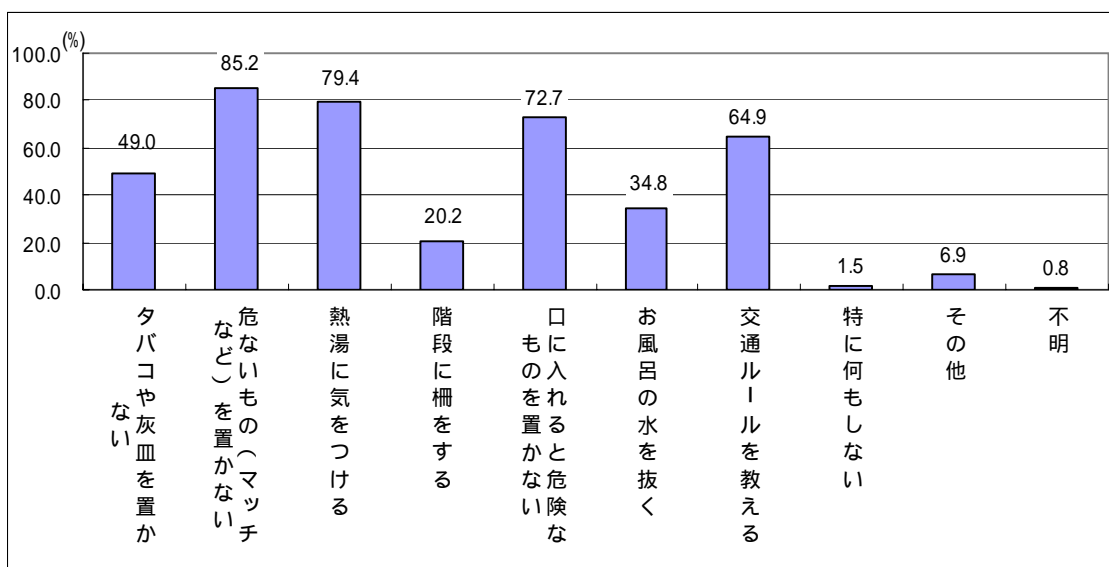


(16) 子どもの事故防止のための対策

子どもの事故防止のための対策として行っていることについてきいたところ、「危ないもの(マッチなど)を置かない」が85.2%と多く、次いで、「熱湯に気をつける」が79.4%、「口に入れると危険なものを置かない」が72.7%、「交通ルールを教える」が64.9%となっています。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が低いときは「タバコや灰皿を置かない」、「危ないもの(マッチなど)を置かない」、「口に入れると危険なものを置かない」といったように子どもの手の届くところに危ないものなどを置かないようにしている人が多くなっています。一方、年齢が高くなると、「交通ルールを教える」といったことに気をつける人が多くなっています。

図表 31 子どもの事故防止のための対策 [N=1,571] (複数回答)



図表 32 子どもの年齢×子どもの事故防止のための対策 [N=1,571] (複数回答)

[単位:(上段)件/(下段)%]

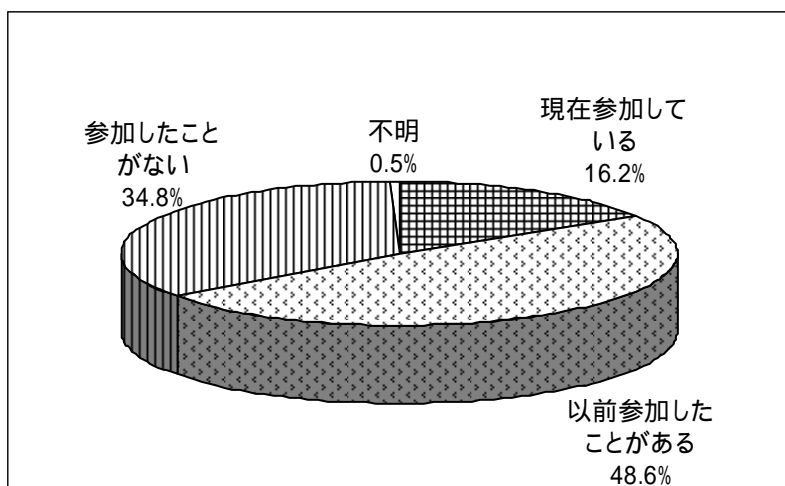
	合計	タバコや灰皿を置かない	危ないもの(マッチなど)を置かない	熱湯に気をつける	階段に柵をする	口に入れると危険なものを置かない	お風呂の水を抜く	交通ルールを教える	特に何もしない	その他	不明
合計	1,571	770	1,339	1,248	317	1,142	546	1,020	24	108	13
	100.0	49.0	85.2	79.4	20.2	72.7	34.8	64.9	1.5	6.9	0.8
0歳	254	104	202	184	26	206	71	38	11	10	5
	100.0	40.9	79.5	72.4	10.2	81.1	28.0	15.0	4.3	3.9	2.0
1歳	260	157	245	218	68	226	116	82	3	21	-
	100.0	60.4	94.2	83.8	26.2	86.9	44.6	31.5	1.2	8.1	-
2歳	261	128	229	210	67	191	98	194	3	22	2
	100.0	49.0	87.7	80.5	25.7	73.2	37.5	74.3	1.1	8.4	0.8
3歳	231	113	204	191	54	169	77	204	1	18	2
	100.0	48.9	88.3	82.7	23.4	73.2	33.3	88.3	0.4	7.8	0.9
4歳	271	140	225	212	54	167	100	242	3	19	-
	100.0	51.7	83.0	78.2	19.9	61.6	36.9	89.3	1.1	7.0	-
5歳	243	108	197	195	42	153	72	215	3	15	3
	100.0	44.4	81.1	80.2	17.3	63.0	29.6	88.5	1.2	6.2	1.2
6歳	37	12	26	25	2	20	8	34	-	-	-
	100.0	32.4	70.3	67.6	5.4	54.1	21.6	91.9	-	-	-
不明	14	8	11	13	4	10	4	11	-	3	1
	100.0	57.1	78.6	92.9	28.6	71.4	28.6	78.6	-	21.4	7.1

(17) 子育てサークルへの参加経験

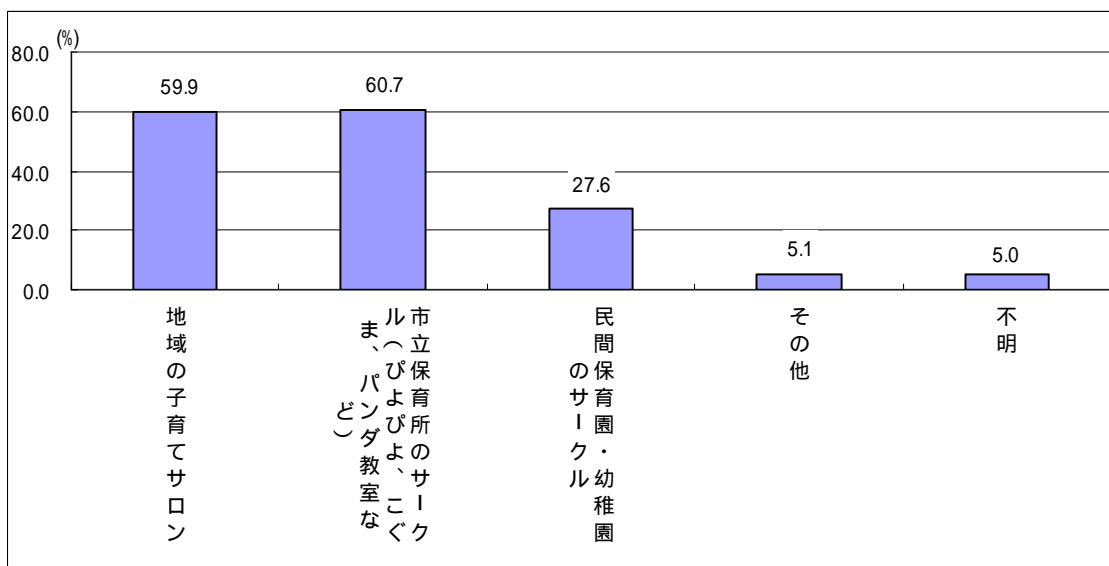
子育てサークルへの参加経験については、「以前参加したことがある」が48.6%と多く、次いで、「参加したことがない」が34.8%となっています。

また、参加経験のある子どもサークルの種類としては、「市立保育所のサークル（ぴよぴよ、こぐま、パンダ教室など）」が60.7%と多く、次いで、「地域の子育てサロン」が59.9%となっています。

図表 33 子育てサークルへの参加経験 [N=1,571]



図表 34 子どもサークルの種類 [N=1,017] (複数回答)

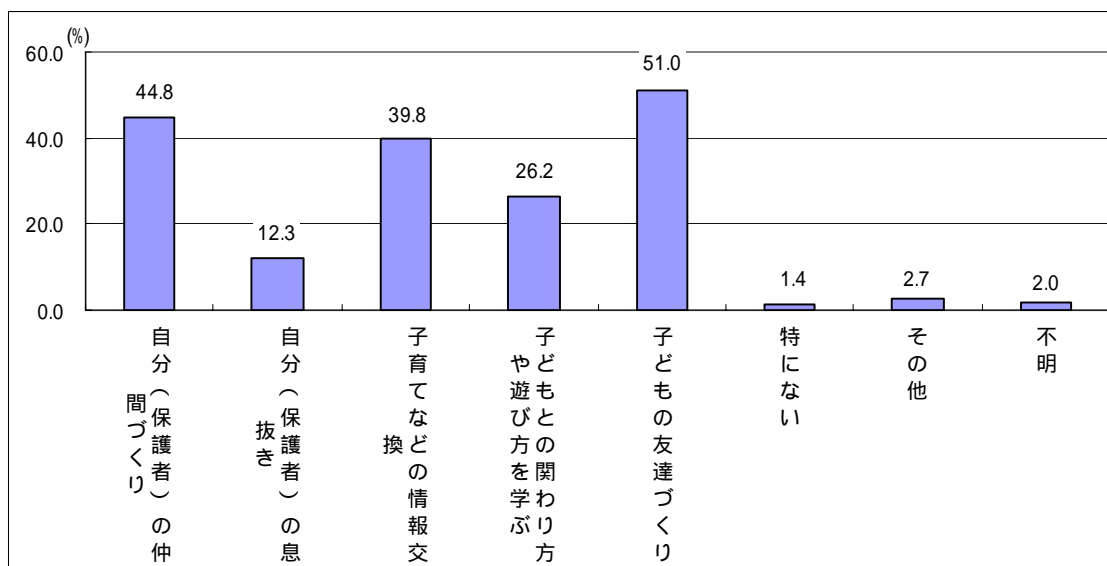


(18) 子育てサークルへの参加目的

子育てサークルへの参加目的については、「子どもの友達づくり」が51.0%と多く、次いで、「自分(保護者)の仲間づくり」が44.8%、「子育てなどの情報交換」が39.8%となっています。

「第一子以外」の回答者の場合には、特に「子どもの友達づくり」を目的とした参加が60.6%となっており、「第一子」の回答者の44.9%よりも高くなっています。

図表 35 子育てサークルへの参加目的 [N=1,017]



図表 36 第一子か否か×子育てサークルへの参加目的 [N=1,017]

[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	自分(保護者)の仲間づくり	自分(保護者)の息抜き	子育てなどの情報交換	子どもとの関わり方や遊び方を学ぶ	子どもの友達づくり	特にない	その他	無回答
合計	1,017	456	125	405	266	519	14	27	20
	100.0	44.8	12.3	39.8	26.2	51.0	1.4	2.7	2.0
第一子	604	275	89	270	170	271	5	16	14
	100.0	45.5	14.7	44.7	28.1	44.9	0.8	2.6	2.3
第一子以外	398	176	35	127	91	241	9	11	5
	100.0	44.2	8.8	31.9	22.9	60.6	2.3	2.8	1.3
無回答	15	5	1	8	5	7	-	-	1
	100.0	33.3	6.7	53.3	33.3	46.7	-	-	6.7

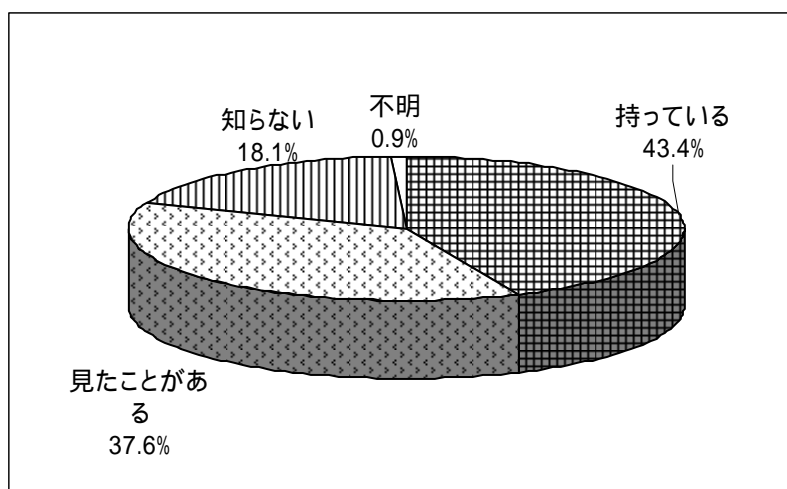
(19) 子育てサロン・サークルマップの入手経験・入手場所

子育てサロン・サークルマップの入手経験については、「持っている」という回答が43.4%と多く、次いで、「見たことがある」が37.6%となっています。「知らない」は18.1%にとどまっています。

「第一子」の回答者では、「持っている」が53.1%と半数を超えていますが、「第一子以外」では、30.4%にとどまっています。

また、子育てサロン・サークルマップの入手場所としては、「子育て支援センター」が51.2%と最も多くなっています。

図表 37 子育てサロン・サークルマップの入手経験 [N=1,571]

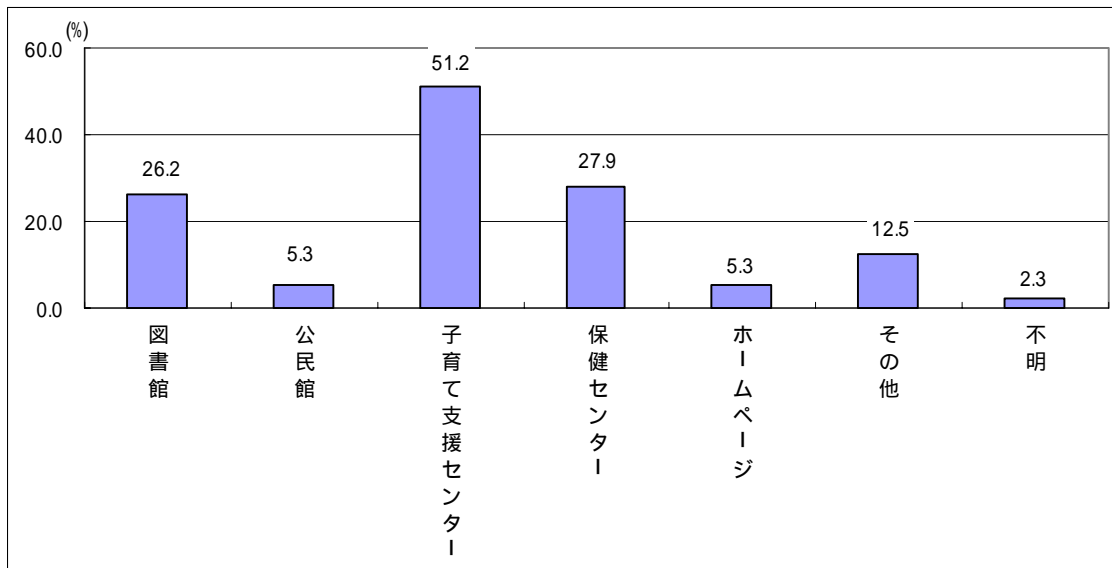


図表 38 第一子か否か×子育てサロン・サークルマップの入手経験 [N=1,571]

[単位：(上段)件 / (下段)%]

	合計	持っている	見たことがある	知らない	無回答
合計	1,571	682	590	285	14
	100.0	43.4	37.6	18.1	0.9
第一子	893	474	277	134	8
	100.0	53.1	31.0	15.0	0.9
第一子以外	652	198	304	144	6
	100.0	30.4	46.6	22.1	0.9
無回答	26	10	9	7	-
	100.0	38.5	34.6	26.9	-

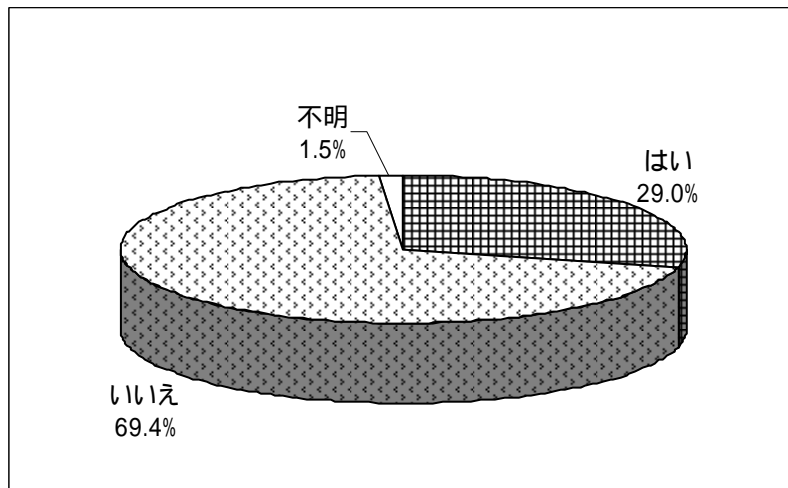
図表 39 子育てサロン・サークルマップの入手場所 [N=1,272] (複数回答)



(20) 子育てに関するテーマの講座への参加経験

子育てに関するテーマの講座への参加経験についてきいたところ、参加経験のない人(「いいえ」という回答)が69.4%と、参加経験のある人(「はい」という回答)29.0%を大きく上回っています。

図表 40 子育てに関するテーマの講座への参加経験 [N=1,571]



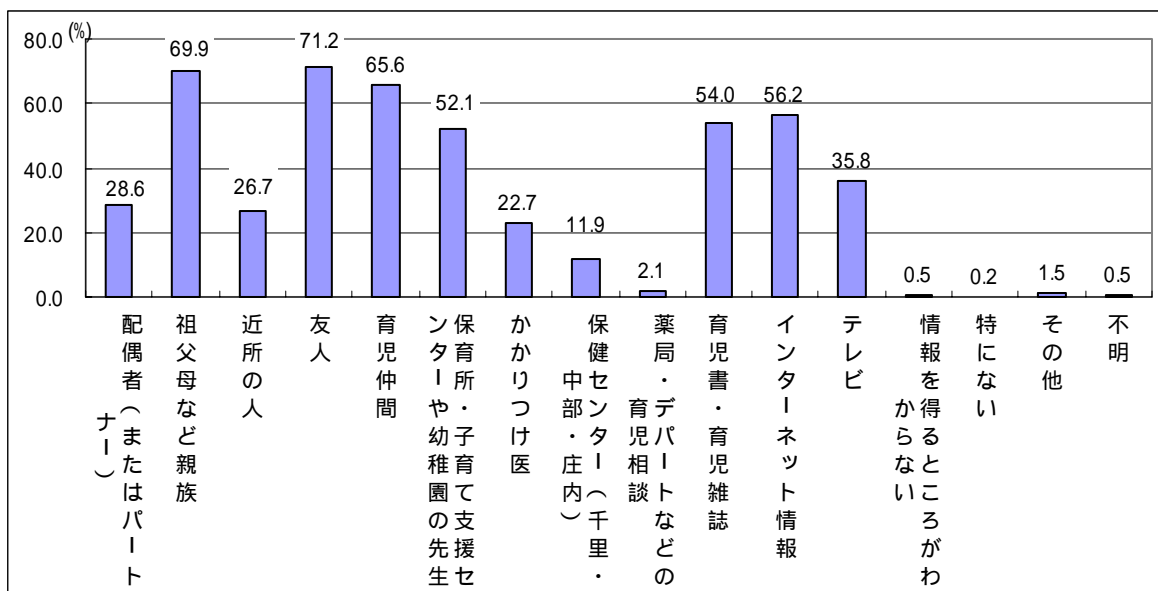
(21) 育児に関する情報収集先

育児に関する知識や情報収集先については、「友人」が71.2%と最も多く、次いで、「祖父母など親族」が69.9%、「育児仲間」が65.6%となっています。「インターネット情報」や「育児書・育児雑誌」、「保育所・子育て支援センターや幼稚園の先生」という回答も各々50%を超えています。「第一子」の回答者は祖父母などの親族からの情報収集が多く、「第一子以外」の回答者は友人と答えた人が多くなっています。

また、家族構成別にみると、「三世代」の家庭では、「祖父母など親族」を情報源とする傾向が強まります。

実際に最も役に立った情報として、1位を3点、2位を2点、3位を1点として指標化した結果、「祖父母など親族」が1,835点と最も高く、次いで「育児仲間」が1,779点となっています。(図表43)

図表 41 育児に関する情報収集先 [N=1,571] (複数回答)



図表 42 第一子か否か×育児に関する情報収集先 [N=1,571] (複数回答)

[単位:(上段)件/(下段)%]

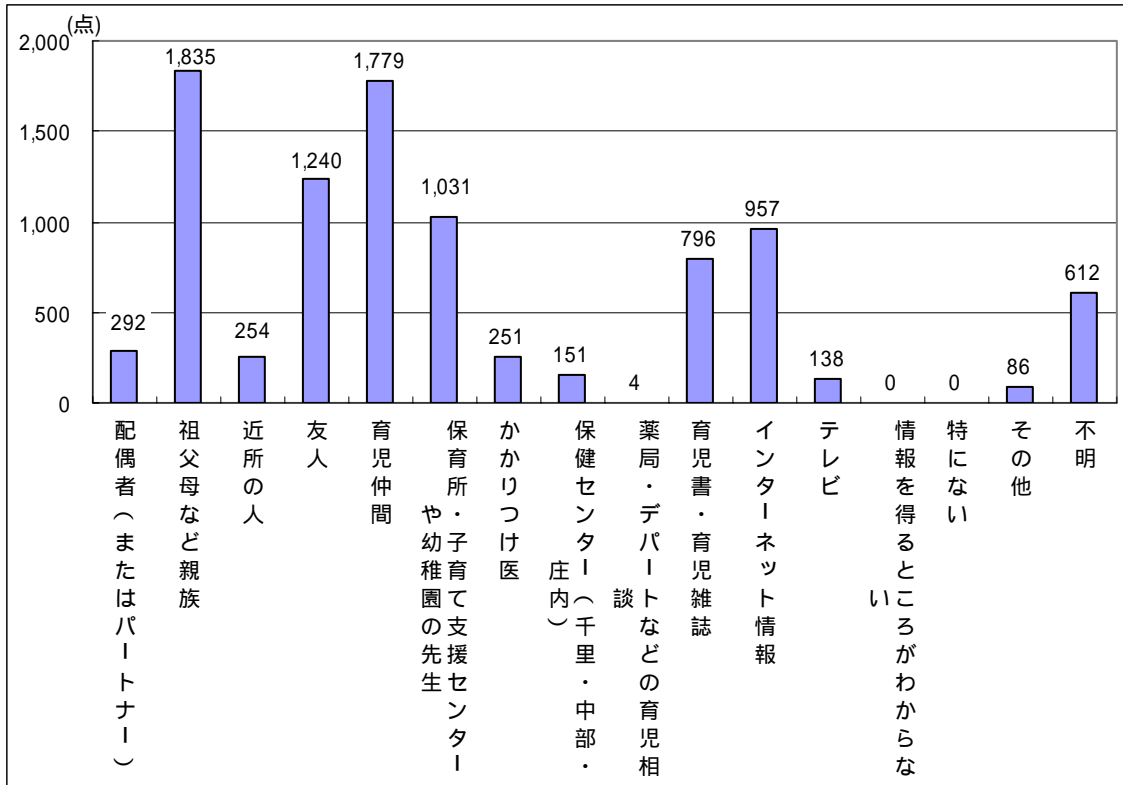
	合計	配偶者(またはパートナー)	祖父母など親族	近所の人	友人	育児仲間	保育所・子育て支援センターや幼稚園の先生	かかりつけ医	保健センター(千里・中部・庄内)	薬局・デパートなどの育児相談	育児書・育児雑誌	インターネット情報	テレビ	情報を得るところがわからない	特にない	その他	無回答
合計	1,571	449	1,098	419	1,119	1,031	818	356	187	33	848	883	562	8	3	24	8
	100.0	28.6	69.9	26.7	71.2	65.6	52.1	22.7	11.9	2.1	54.0	56.2	35.8	0.5	0.2	1.5	0.5
第一子	893	250	653	200	628	577	464	204	122	19	539	568	312	4	1	16	1
	100.0	28.0	73.1	22.4	70.3	64.6	52.0	22.8	13.7	2.1	60.4	63.6	34.9	0.4	0.1	1.8	0.1
第一子以外	652	193	430	210	468	437	343	148	64	13	297	300	243	4	1	8	7
	100.0	29.6	66.0	32.2	71.8	67.0	52.6	22.7	9.8	2.0	45.6	46.0	37.3	0.6	0.2	1.2	1.1
無回答	26	6	15	9	23	17	11	4	1	1	12	15	7	-	1	-	-
	100.0	23.1	57.7	34.6	88.5	65.4	42.3	15.4	3.8	3.8	46.2	57.7	26.9	-	3.8	-	-

図表 43 家族構成×育児に関する情報収集先 [N=1,571] (複数回答)

[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	配偶者(またはパートナー)	祖父母など親族	近所の人	友人	育児仲間	保育所・子育て支援センターや幼稚園の先生	かかりつけ医	保健センター(千里・中部・庄内)	薬局・デパートなどの育児相談	育児書・育児雑誌	インターネット情報	テレビ	情報を得るところがわからない	特にない	その他	無回答
合計	1,571	449	1,098	419	1,119	1,031	818	356	187	33	848	883	562	8	3	24	8
	100.0	28.6	69.9	26.7	71.2	65.6	52.1	22.7	11.9	2.1	54.0	56.2	35.8	0.5	0.2	1.5	0.5
親子	1,422	406	976	379	1,014	949	750	317	166	29	773	799	510	7	2	23	6
	100.0	28.6	68.6	26.7	71.3	66.7	52.7	22.3	11.7	2.0	54.4	56.2	35.9	0.5	0.1	1.6	0.4
三世代	79	22	66	22	55	38	38	26	15	2	42	41	27	-	-	-	2
	100.0	27.8	83.5	27.8	69.6	48.1	48.1	32.9	19.0	2.5	53.2	51.9	34.2	-	-	-	2.5
その他	23	6	20	3	17	12	10	5	2	1	9	11	11	-	-	1	-
	100.0	26.1	87.0	13.0	73.9	52.2	43.5	21.7	8.7	4.3	39.1	47.8	47.8	-	-	4.3	-
無回答	47	15	36	15	33	32	20	8	4	1	24	32	14	1	1	-	-
	100.0	31.9	76.6	31.9	70.2	68.1	42.6	17.0	8.5	2.1	51.1	68.1	29.8	2.1	2.1	-	-

図表 44 育児に関する情報収集先（指標化） [N=1,571]



* 1位を3点、2位を2点、3位を1点として換算

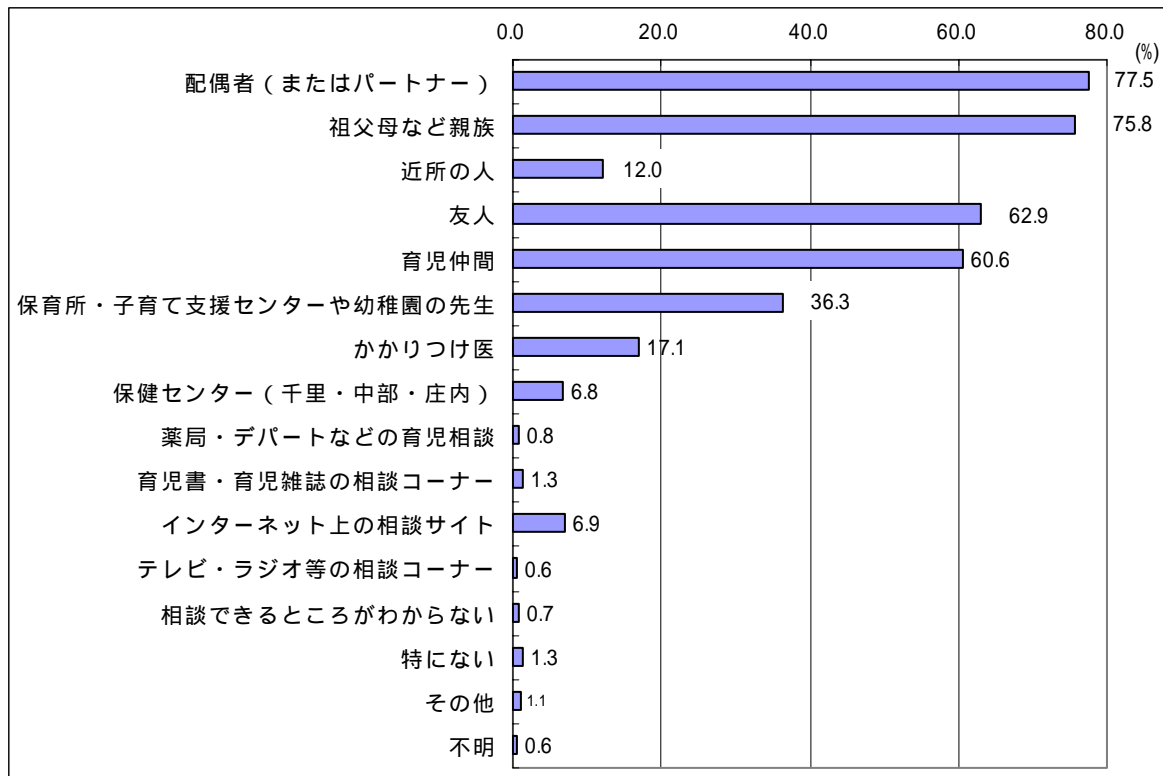
（22） 育児に関する不安・悩みの相談相手

育児に関する不安や悩みの相談相手については、「配偶者（またはパートナー）」が77.5%と最も多く、次いで、「祖父母など親族」が75.8%、「友人」が62.9%、「育児仲間」が60.6%となっています。

家族構成別にみると、「三世帯」の世帯では、「祖父母など親族」の割合がより多くなっている他、「かかりつけ医」についても相談相手としてあげる割合が他の世帯より多くなっています。

特によく相談する相手として、1位を3点、2位を2点、3位を1点として指標化した結果、「配偶者」が2,726点と最も高く、次いで「祖父母など親族」が2,235点となっています。（図表46）

図表 45 育児に関する不安・悩みの相談相手 [N=1,571] (複数回答)

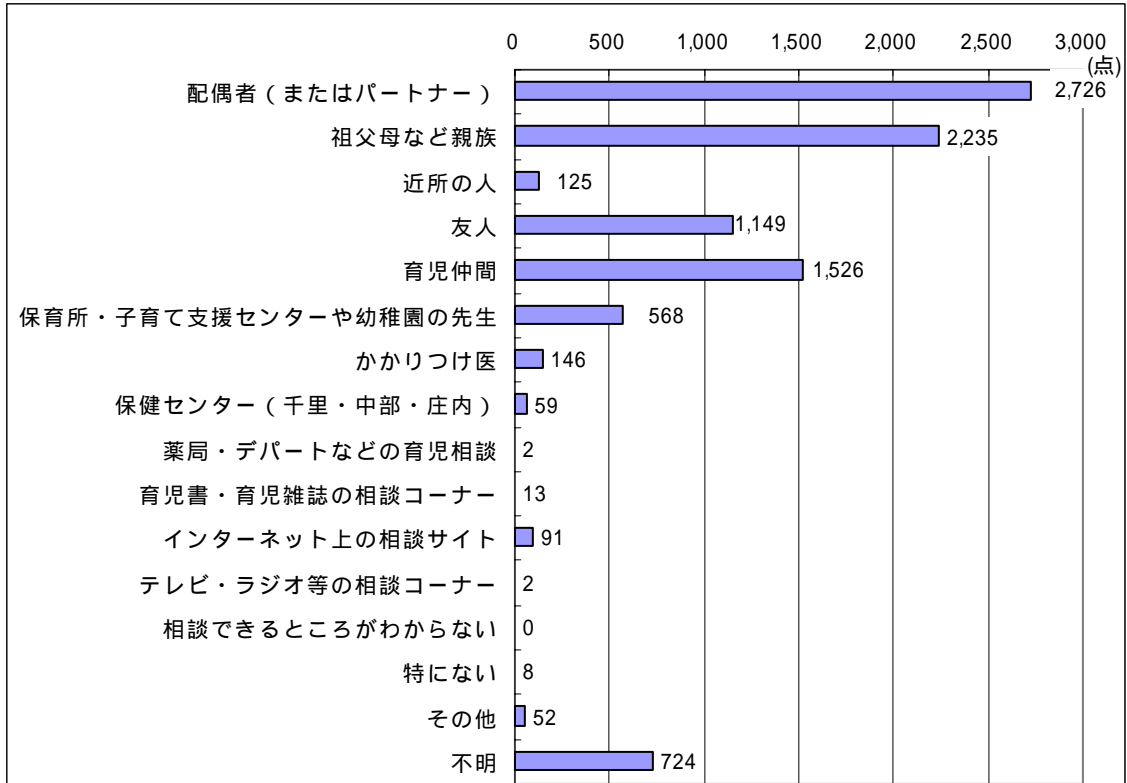


図表 46 家族構成×育児に関する不安・悩みの相談相手 [N=1,571] (複数回答)

[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	配偶者(またはパートナー)	祖父母など親族	近所の人	友人	育児仲間	保育所・子育て支援センターや幼稚園の先生	かかりつけ医	保健センター(千里・中部・庄内)	薬局・デパートなどの育児相談	育児書・育児雑誌の相談コーナー	インターネット上の相談サイト	テレビ・ラジオ等の相談コーナー	相談できるところがわからない	特にない	その他	無回答
合計	1,571	1,218	1,191	189	988	952	570	268	107	13	20	108	9	11	21	17	10
	100.0	77.5	75.8	12.0	62.9	60.6	36.3	17.1	6.8	0.8	1.3	6.9	0.6	0.7	1.3	1.1	0.6
親子	1,422	1,118	1,063	172	889	879	517	236	95	11	16	94	6	9	21	17	9
	100.0	78.6	74.8	12.1	62.5	61.8	36.4	16.6	6.7	0.8	1.1	6.6	0.4	0.6	1.5	1.2	0.6
三世代	79	52	69	10	57	33	33	24	5	1	4	5	3	1	-	-	1
	100.0	65.8	87.3	12.7	72.2	41.8	41.8	30.4	6.3	1.3	5.1	6.3	3.8	1.3	-	-	1.3
その他	23	10	20	2	13	10	9	4	4	-	-	2	-	-	-	-	-
	100.0	43.5	87.0	8.7	56.5	43.5	39.1	17.4	17.4	-	-	8.7	-	-	-	-	-
無回答	47	38	39	5	29	30	11	4	3	1	-	7	-	1	-	-	-
	100.0	80.9	83.0	10.6	61.7	63.8	23.4	8.5	6.4	2.1	-	14.9	-	2.1	-	-	-

図表 47 育児に関する不安・悩みの相談相手（指標化）[N=1,571]

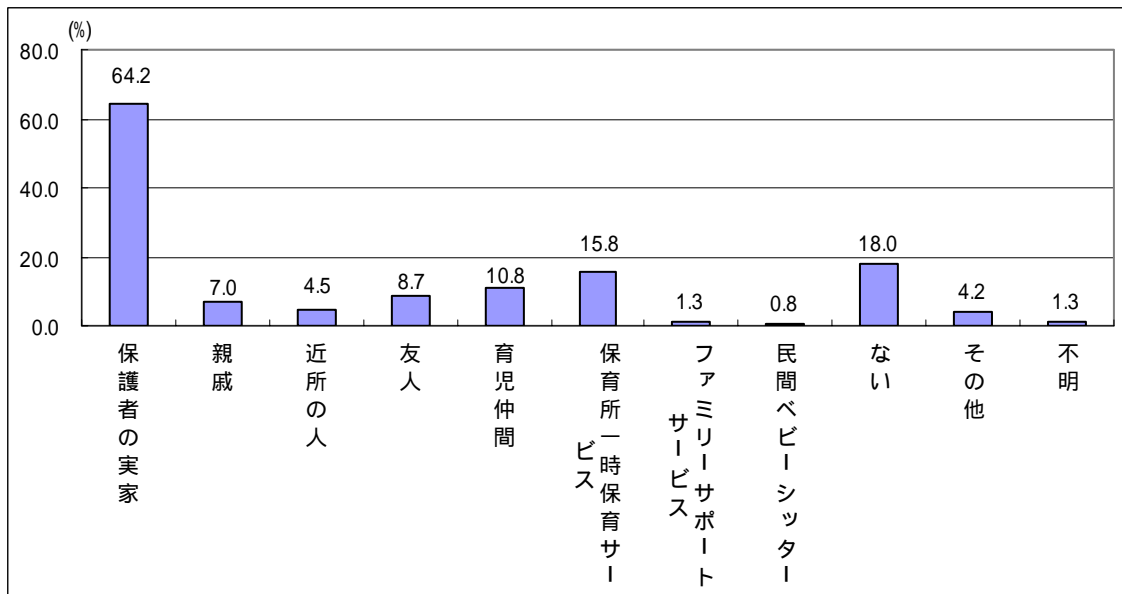


* 1位を3点、2位を2点、3位を1点として換算

（23）子どもを預けられる人（場所）

子どもを預けられる人（場所）についてきいたところ、「保護者の実家」が64.2%と多くなっています。そのほかでは、「保育所一時保育サービス」が15.8%となっています。一方で、「ない」という回答も18.0%あります。

図表 48 子どもを預けられる人（場所）[N=1,571]（複数回答）



(24) 子どもと過ごす時間

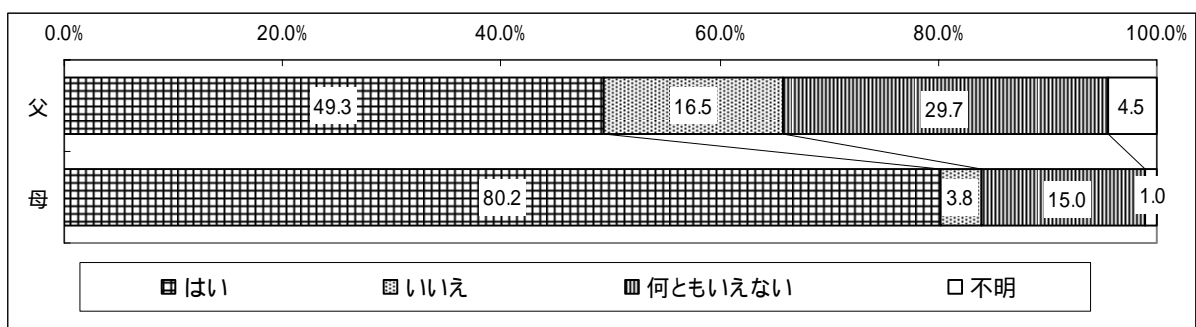
子どもと過ごす時間の有無などについて、ゆっくりと子どもの相手ができる時間についてきいたところ、父親では時間がある割合(「はい」という回答)が49.3%、母親は80.2%となっています。

また、育児を楽しんでいると感じることが多いかどうかきいたところ、父母共に「はい」という回答が80%前後となっています。

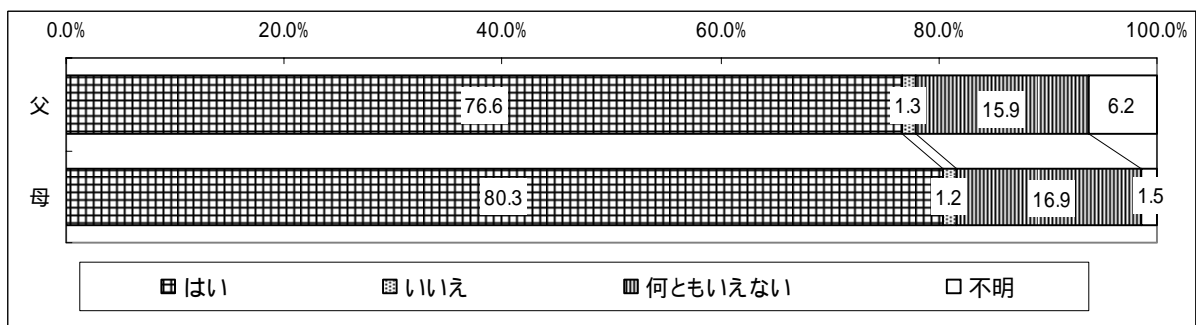
さらに、子どもと遊ぶ頻度については、父親ではよく遊んでいる割合(「はい」という回答)が62.0%、母親は75.2%となっています。

しかし、具体的な回数をみると、父親では、「週に数回」が44.6%と最も多くなっている一方で、母親では、「毎日」が77.5%と最も多くなっています。

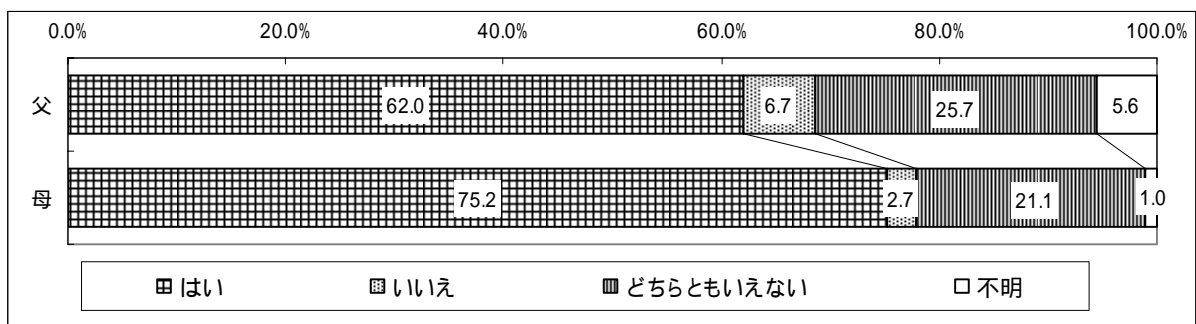
図表 49 子どもとの相手ができる時間の有無 [N=1,571]



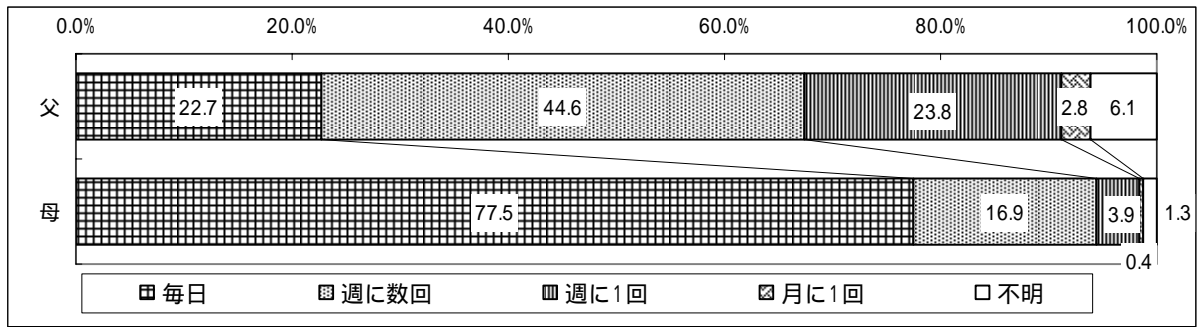
図表 50 育児を楽しんでいると感じることの有無 [N=1,571]



図表 51 子どもとよく遊ぶか否か [N=1,571]



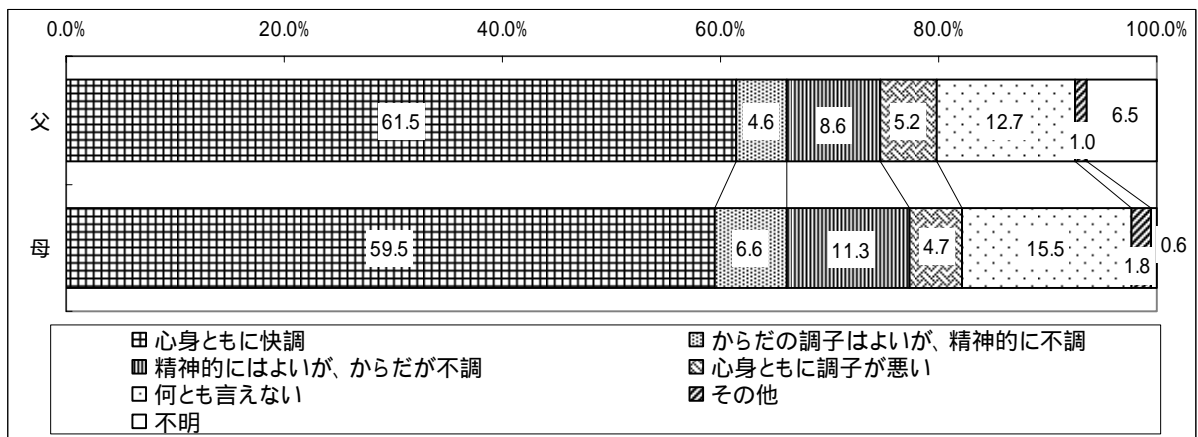
図表 52 子どもと遊ぶ頻度（回数） [N=1,571]



(2 5) 父母の心身の状況

父母の心身の状況についてきいたところ、「心身ともに快調」が父母共に60%前後となっています。一方、からだ、もしくは精神的に何らかの不調がある人は父母ともに20%前後います。

図表 53 父母の心身の状況 [N=1,571]



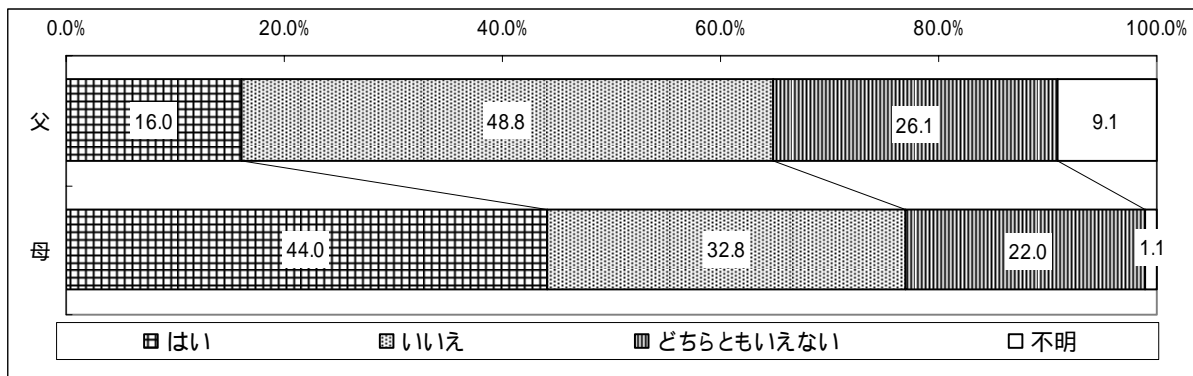
(26) 子育てへの自信

子育てに自信がもてないことがあるかどうかの有無については、父親では、自信が持てない割合(「はい」という回答)は16.0%ですが、母親では、44.0%と多くなっています。

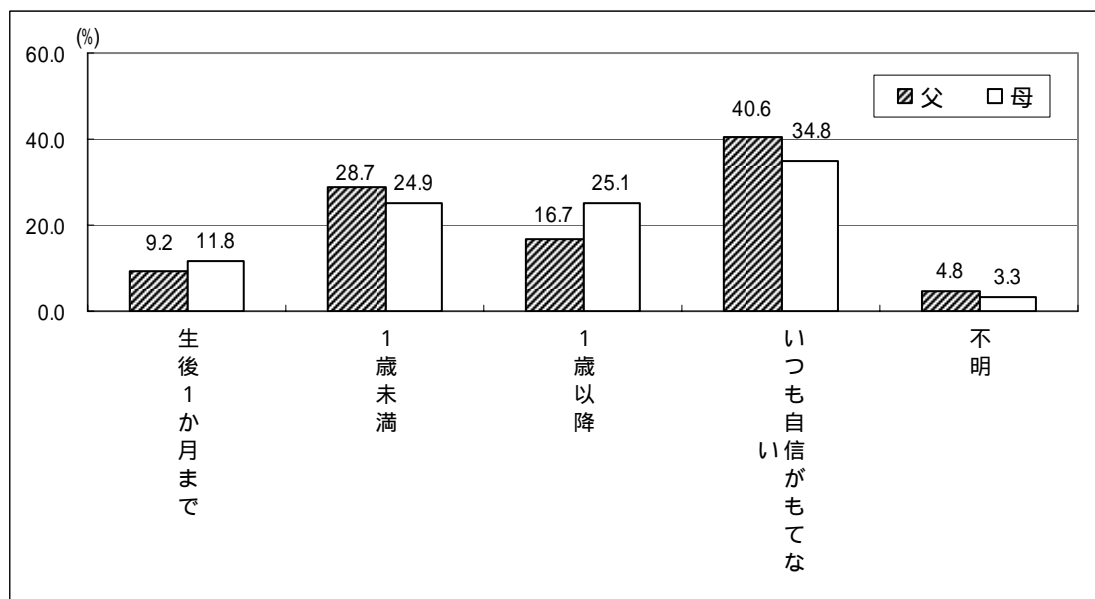
また、子育てに自信が持てない(持てなかった)時期については、父母ともに「いつも自信が持てない」という回答が多く(父親40.6%、母親34.8%)、次いで、「1歳未満」が続いています。

子育てに自信が持てないと感じる時については、父親では、「子どもの要求がわからない時」が52.2%と多くなっています。一方、母親では、「育児が思うようにならない時」が57.2%と多くなっています。また、「第一子」と「第一子以外」の母親を比較すると、「第一子」の母親の方が「子どもの要求がわからない時」について、自信が持てないと感じていることがわかります。

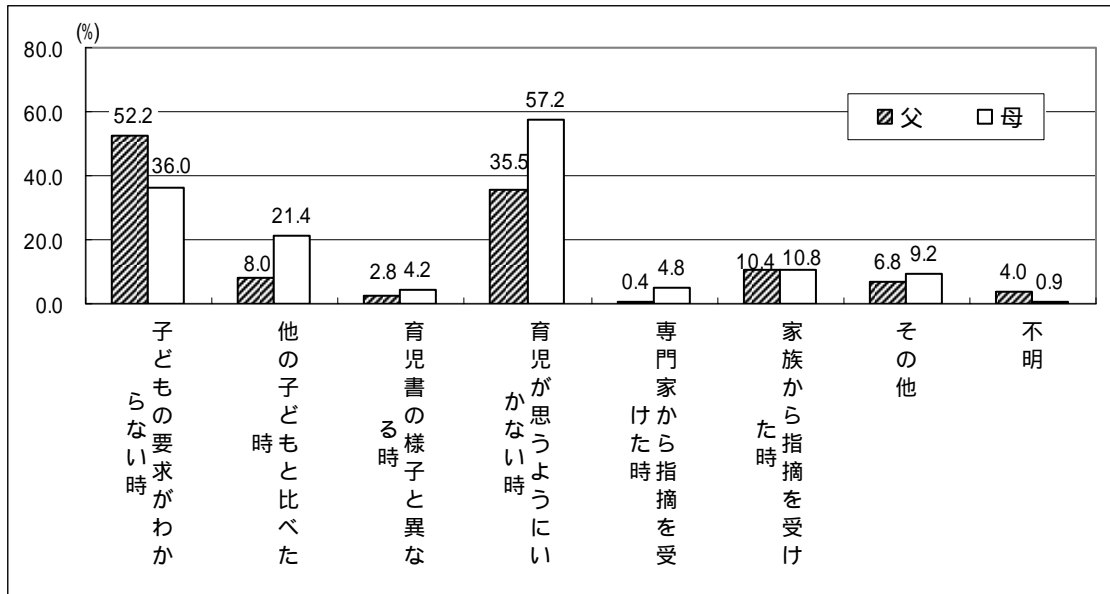
図表 54 子育てに自信がもてないことがあるかどうかの有無 [N=1,571]



図表 55 子育てに自信が持てない(持てなかった)時期 [父: N=251、母: N=692]



図表 56 子育てに自信が持てないと感じる時 [父：N=251、母：N=692]



図表 57 第一子か否か×子育てに自信が持てないと感じる時（父親） [N=251]

[単位：(上段)件 / (下段)%]

	合計	わからない時	他の子どもと比べた時	育児書の様子と異なる時	育児が思うようにいかない時	専門家から指摘を受けた時	家族から指摘を受けた時	その他	無回答
合計	251	131	20	7	89	1	26	17	10
	100.0	52.2	8.0	2.8	35.5	0.4	10.4	6.8	4.0
第一子	164	92	15	5	54	-	15	9	8
	100.0	56.1	9.1	3.0	32.9	-	9.1	5.5	4.9
第一子以外	84	38	5	2	33	1	10	7	2
	100.0	45.2	6.0	2.4	39.3	1.2	11.9	8.3	2.4
無回答	3	1	-	-	2	-	1	1	-
	100.0	33.3	-	-	66.7	-	33.3	33.3	-

図表 58 第一子か否か×子育てに自信が持てないと感じる時（母親） [N=692]

[単位：(上段)件 / (下段)%]

	合計	わからない時	他の子どもと比べた時	育児書の様子と異なる時	育児が思うようにいかない時	専門家から指摘を受けた時	家族から指摘を受けた時	その他	無回答
合計	692	249	148	29	396	33	75	64	6
	100.0	36.0	21.4	4.2	57.2	4.8	10.8	9.2	0.9
第一子	444	179	91	21	254	21	51	38	6
	100.0	40.3	20.5	4.7	57.2	4.7	11.5	8.6	1.4
第一子以外	236	66	54	8	134	12	23	25	-
	100.0	28.0	22.9	3.4	56.8	5.1	9.7	10.6	-
無回答	12	4	3	-	8	-	1	1	-
	100.0	33.3	25.0	-	66.7	-	8.3	8.3	-

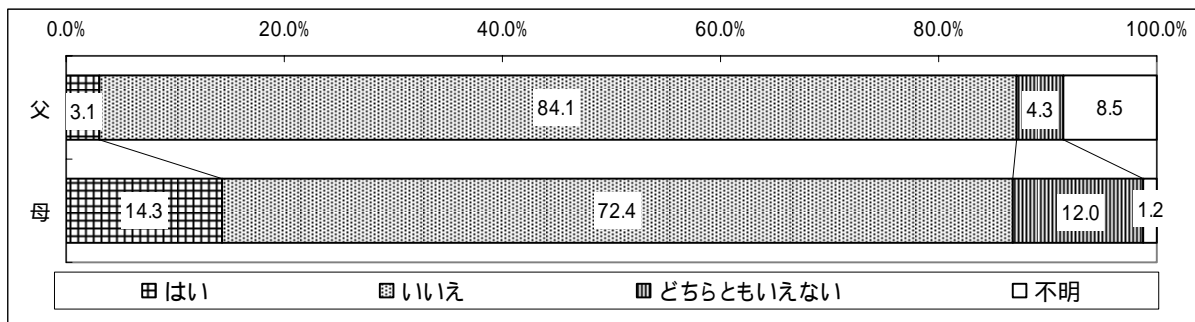
(27) 子どもを虐待していると感じるものの有無

子どもを虐待しているのではないかと思うことがあるかどうかきいたところ、父の3.1%、母の14.3%が「はい」と回答しています。

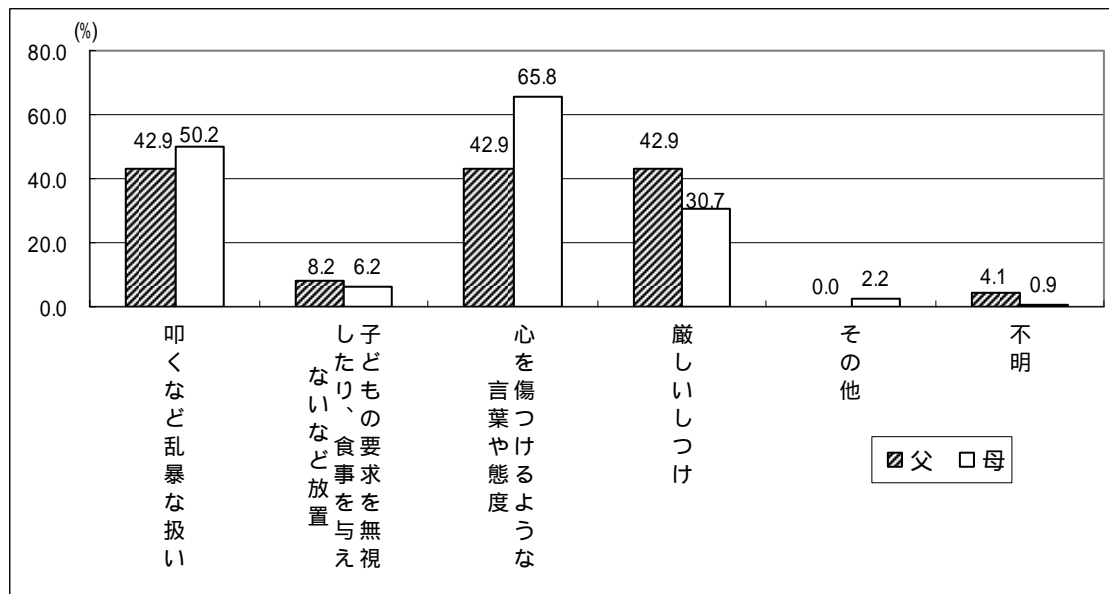
「はい」と回答した人に、その内容についてきいたところ、父親では、「叩くなど乱暴な扱い」や「心を傷つけるような言葉や態度」、「厳しいしつけ」が各々42.9%となっています。

一方、母親では、「心を傷つけるような言葉や態度」が65.8%と多くなっています。

図表 59 子どもを虐待していると感じるものの有無 [N=1,571]



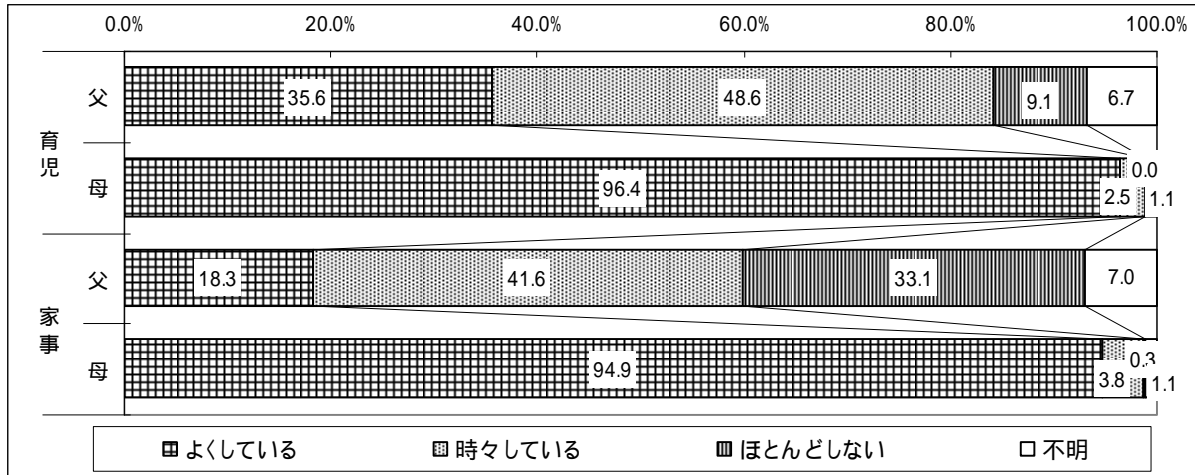
図表 60 子どもを虐待していると感じる内容 [父：N=49、母：N=225] (複数回答)



(2 8) 育児・家事の実施状況

育児・家事の実施状況についてみると、母親の方が「よくしている」と答えた割合は多くなっています。また、父親では、家事については「ほとんどしない」という回答が33.1%みられますが、育児については35.6%の人が「よくしている」と答えています。

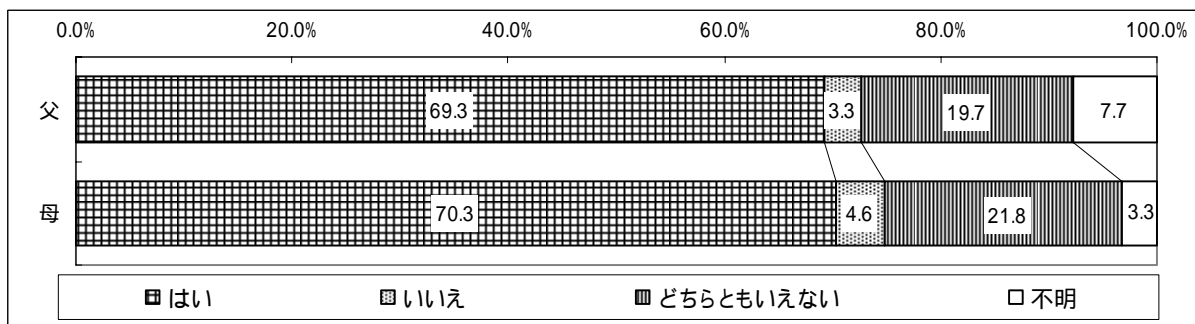
図表 61 育児・家事の実施状況 [N=1,571]



(2 9) 配偶者の精神的な支えとしての役割

配偶者（またはパートナー）の精神的な支えになっているかどうか聞いたところ、「はい」という回答が父母ともに70%前後となっています。

図表 62 配偶者の精神的な支えとしての役割 [N=1,571]

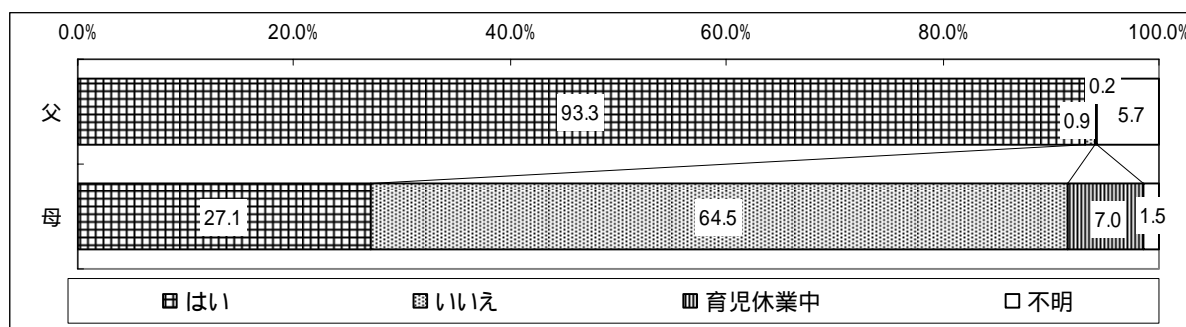


3. 保護者の就労状況について

(1) 就労状況

保護者の就労状況についてみると、父親は93.3%が就労している(「はい」と回答しています。一方で、母親については、「いいえ」という回答が64.5%と多くなっています。

図表 63 保護者の就労状況 [N=1,571]



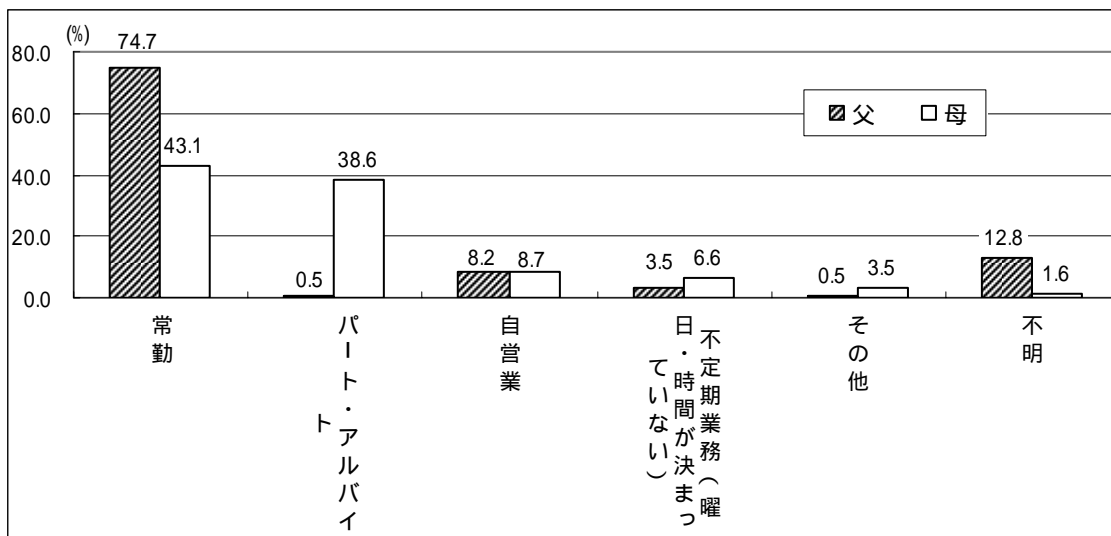
(2) 就労形態

就労していると回答した保護者の就労形態についてきいたところ、父親では、「常勤」が最も多く、74.7%となっています。母親では、「常勤」が43.1%と最も多く、次いで、「パート・アルバイト」が38.6%となっています。「第一子」と「第一子以外」で比較すると、「第一子」の母親は「常勤」の49.6%が最も多く、「第一子以外」の母親は「パート・アルバイト」の44.2%が最も多くなっています。

また、「常勤」で働く人の1日あたりの勤務時間については、父親では、「10時間以上」が46.0%、「8時間以上10時間未満」が40.4%となっています。また、母親については、「8時間以上10時間未満」という回答が62.4%と多く、「10時間以上」という回答は3.3%となっています。

「パート・アルバイト」で働く人の1週間あたり勤務日数については、父親はすべてが「5日以上」、母親の約半数が「3,4日」となっています。「パート・アルバイト」で働く人の1日あたりの勤務時間で最も多いのは、父親では「8時間以上」が66.7%、母親では「6時間以上8時間未満」が45.3%となっています。

図表 64 保護者の就労形態 [父：N=1,465、母：N=425]



図表 65 第一子か否か×保護者の就労形態(父親) [N=1,465]

[単位：(上段)件 / (下段) %]

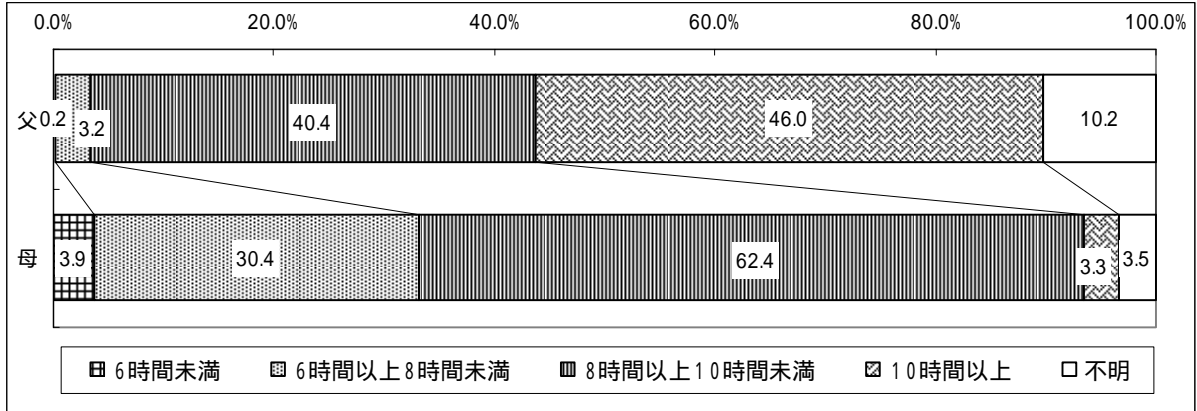
	合計	常勤	パート・アルバイト	自営業	不定期業務(曜日・時間が決まらない)	その他	無回答
合計	1,465	1,095	7	120	51	8	188
	100.0	74.7	0.5	8.2	3.5	0.5	12.8
第一子	836	639	5	57	28	5	102
	100.0	76.4	0.6	6.8	3.3	0.6	12.2
第一子以外	607	437	2	62	22	3	85
	100.0	72.0	0.3	10.2	3.6	0.5	14.0
無回答	22	19	-	1	1	-	1
	100.0	86.4	-	4.5	4.5	-	4.5

図表 66 第一子か否か×保護者の就労形態(母親) [N=425]

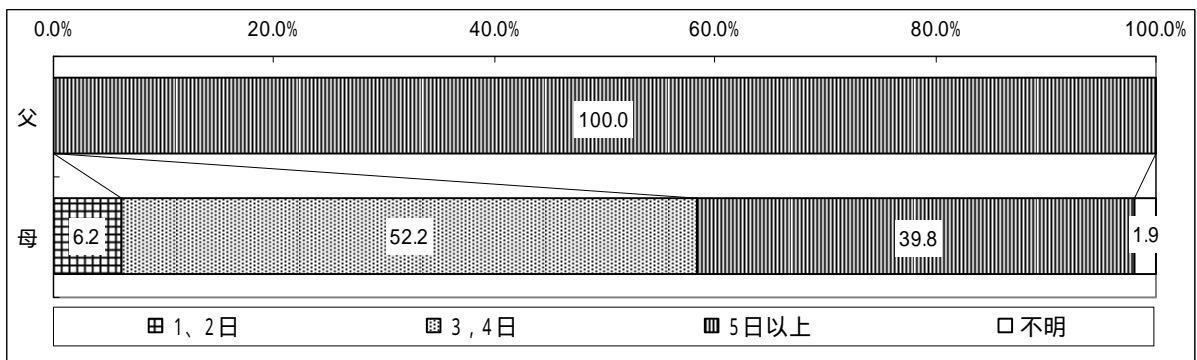
[単位：(上段)件 / (下段) %]

	合計	常勤	パート・アルバイト	自営業	不定期業務(曜日・時間が決まらない)	その他	無回答
合計	425	183	164	37	28	15	7
	100.0	43.1	38.6	8.7	6.6	3.5	1.6
第一子	224	111	75	14	17	6	3
	100.0	49.6	33.5	6.3	7.6	2.7	1.3
第一子以外	190	69	84	23	11	7	3
	100.0	36.3	44.2	12.1	5.8	3.7	1.6
無回答	11	3	5	-	-	2	1
	100.0	27.3	45.5	-	-	18.2	9.1

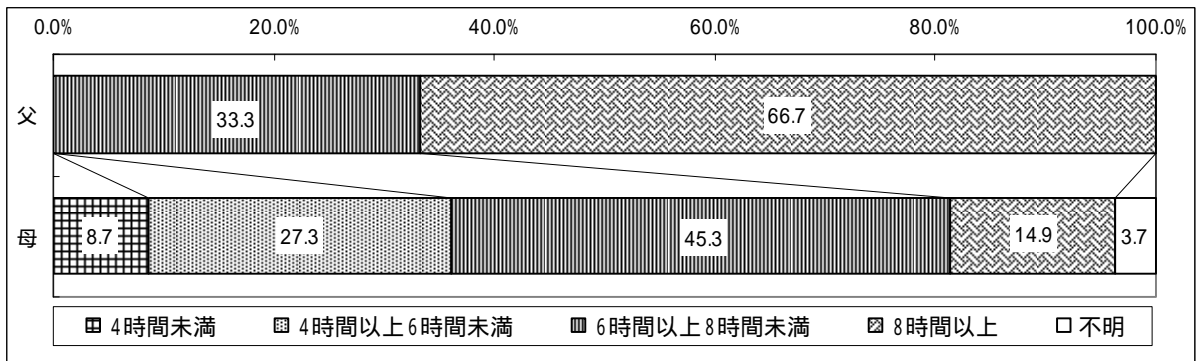
図表 67 常勤で働く人の1日あたり勤務時間 [父：N=1,093、母：N=181]



図表 68 パート・アルバイトで働く人の1週あたり勤務日数 [父：N=6、母：N=161]



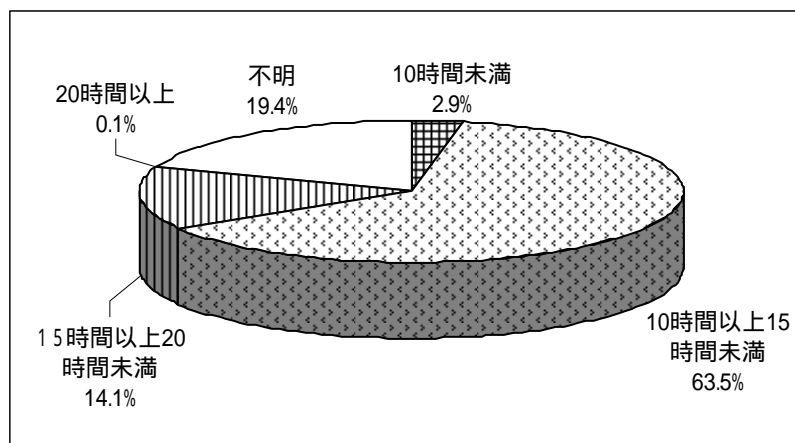
図表 69 パート・アルバイトで働く人の1日あたり勤務時間 [父：N=6、母：N=161]



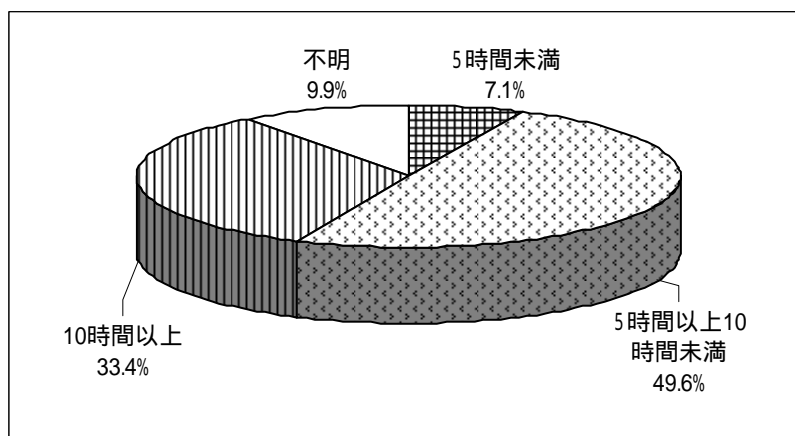
(3) 出勤から帰宅までの平均的な時間

出勤から帰宅までの平均的な時間についてきいたところ、父親では、「10時間以上15時間未満」という回答が63.5%を占めています。一方、母親では、「5時間以上10時間未満」が半数程度を占めており、外出している時間はより短くなっています。しかし、家族構成別にみると、三世帯の世帯では、母親の出勤から帰宅までの平均的な時間として「10時間以上」の割合がやや多くなっています。

図表 70 出勤から帰宅までの平均的な時間（父親） [N=1,465]



図表 71 出勤から帰宅までの平均的な時間（母親） [N=425]



図表 72 家族構成 × 出勤から帰宅までの平均的な時間（母親） [N=425]

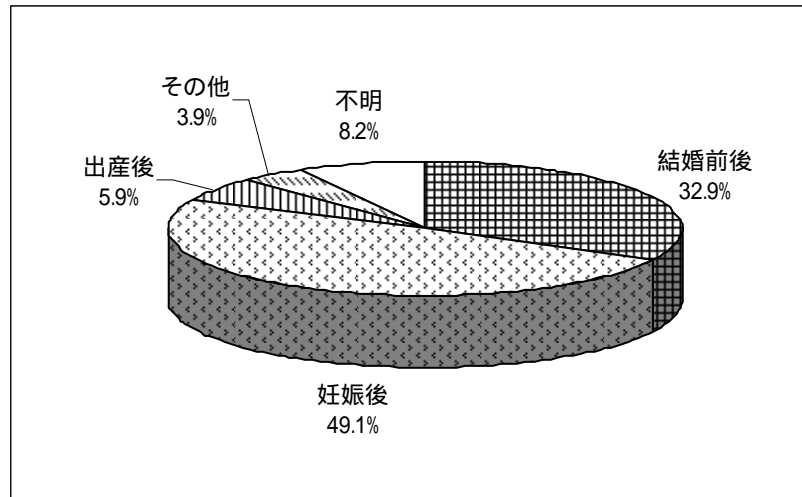
[単位：(上段)件 / (下段)%]

	合計	5時間未満	5時間以上10時間未満	10時間以上	無回答
合計	425	30	211	142	42
	100.0	7.1	49.6	33.4	9.9
親子	368	25	188	120	35
	100.0	6.8	51.1	32.6	9.5
三世帯	34	4	13	15	2
	100.0	11.8	38.2	44.1	5.9
その他	10	-	5	4	1
	100.0	-	50.0	40.0	10.0
無回答	13	1	5	3	4
	100.0	7.7	38.5	23.1	30.8

(4) (母親について)仕事を辞めた時期

仕事を辞めた経験のある母親に、その時期についてきいたところ、「妊娠後」という回答が49.1%と多く、次いで、「結婚前後」が32.9%となっています。

図表 73 (母親について)仕事を辞めた時期 [N=1,013]

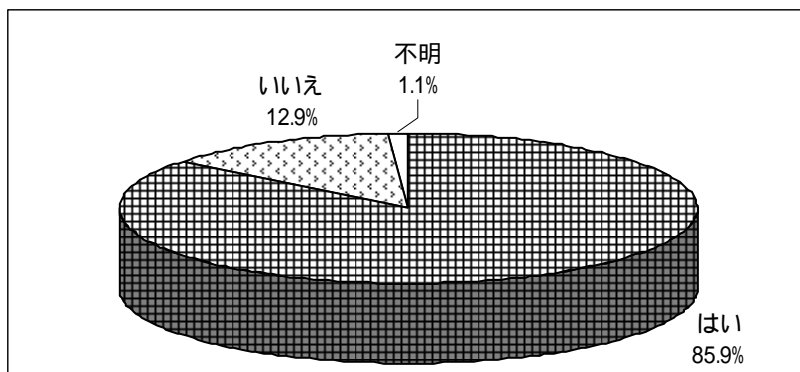


4 . 母子保健サービスについて

(1) 乳幼児健診の受診

乳幼児健診の受診については、受診した割合(「はい」という回答)が85.9%と多くなっています。

図表 74 乳幼児健診の受診 [N=1,571]



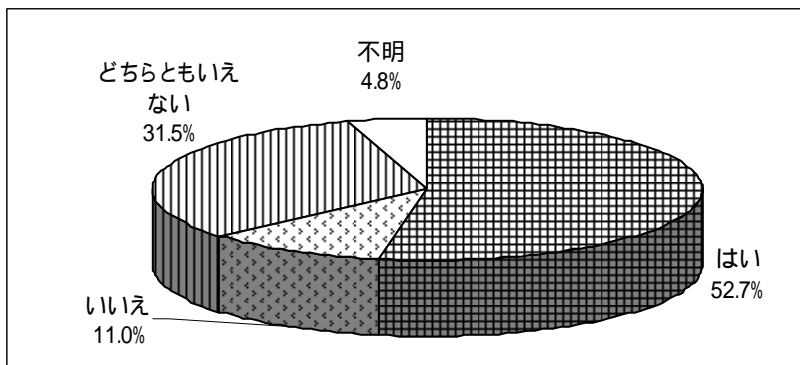
(2) 乳幼児健診の満足度

乳幼児健診の満足度については、満足している割合(「はい」という回答)が半数を占めています。

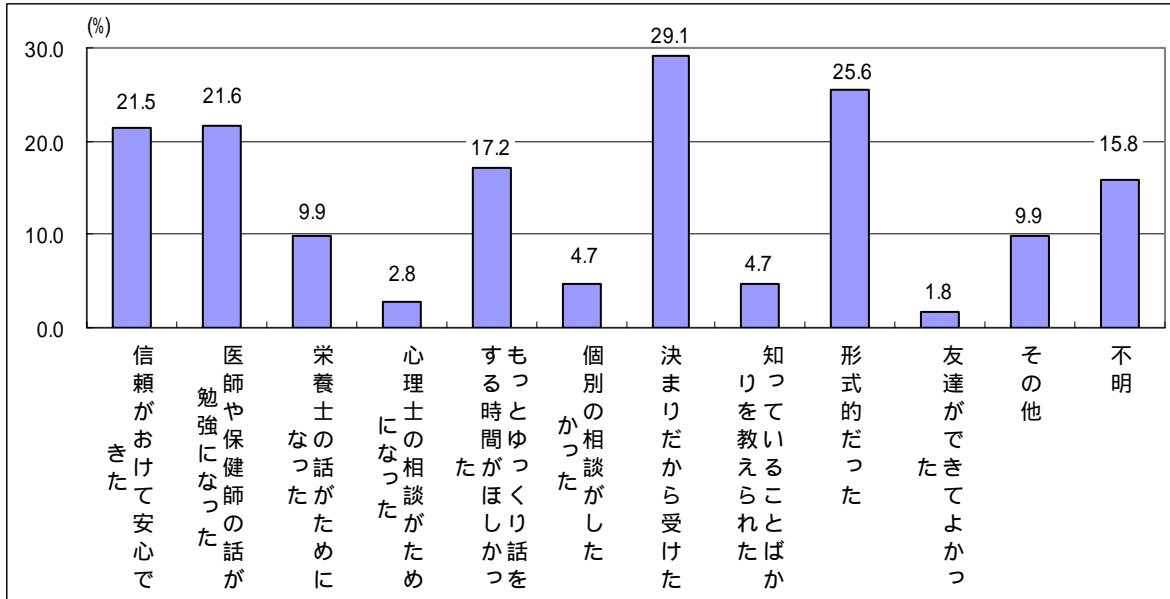
乳幼児健診に対する感想としては、「決まりだから受けた」という回答が29.1%と多く、次いで、「形式的だった」が25.6%となっています。「医師や保健師の話が勉強になった」、「信頼がおけて安心できた」という声も各々2割程度みられる他、「もっとゆっくり話をする時間がほしかった」という回答が17.2%となっています。

この感想について、「第一子」か「第一子以外」で比較すると、「第一子」では、「もっとゆっくり話をする時間がほしかった」が2割強と、「第一子以外」の回答者よりも10ポイント程高くなっています。

図表 75 乳幼児健診の満足度 [N=1,350]



図表 76 乳幼児健診に関する感想 [N=1,350]



図表 77 第一子か否か×乳幼児健診に関する感想 [N=1,350]

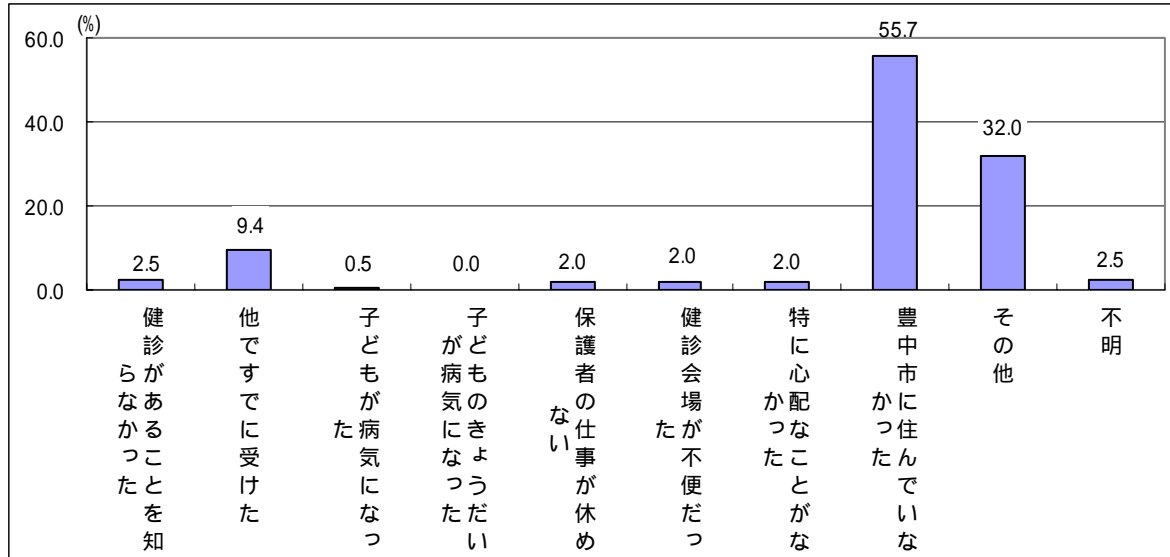
[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	信頼がおけて安心できた	医師や保健師の話が勉強になった	栄養士の話がためになった	心理士の相談がためになった	もっとゆつくり話をする時間がほしかった	個別の相談がよかった	決まりだから受けた	知っていることばかりを教えられたばかり	形式的だった	友達ができてよかった	その他	無回答
合計	1,350	290	292	134	38	232	63	393	63	345	24	134	213
	100.0	21.5	21.6	9.9	2.8	17.2	4.7	29.1	4.7	25.6	1.8	9.9	15.8
第一子	758	163	178	96	23	166	46	189	24	177	17	77	120
	100.0	21.5	23.5	12.7	3.0	21.9	6.1	24.9	3.2	23.4	2.2	10.2	15.8
第一子以外	570	117	112	37	14	64	16	198	39	161	7	54	92
	100.0	20.5	19.6	6.5	2.5	11.2	2.8	34.7	6.8	28.2	1.2	9.5	16.1
無回答	22	10	2	1	1	2	1	6	-	7	-	3	1
	100.0	45.5	9.1	4.5	4.5	9.1	4.5	27.3	-	31.8	-	13.6	4.5

(3) 乳幼児健診を受けなかった理由

乳幼児健診を受けなかったという回答者に、その理由をきいたところ、「豊中市に住んでいなかった」という回答が55.7%と多くなっています。

図表 78 乳幼児健診を受けなかった理由 [N=203] (複数回答)

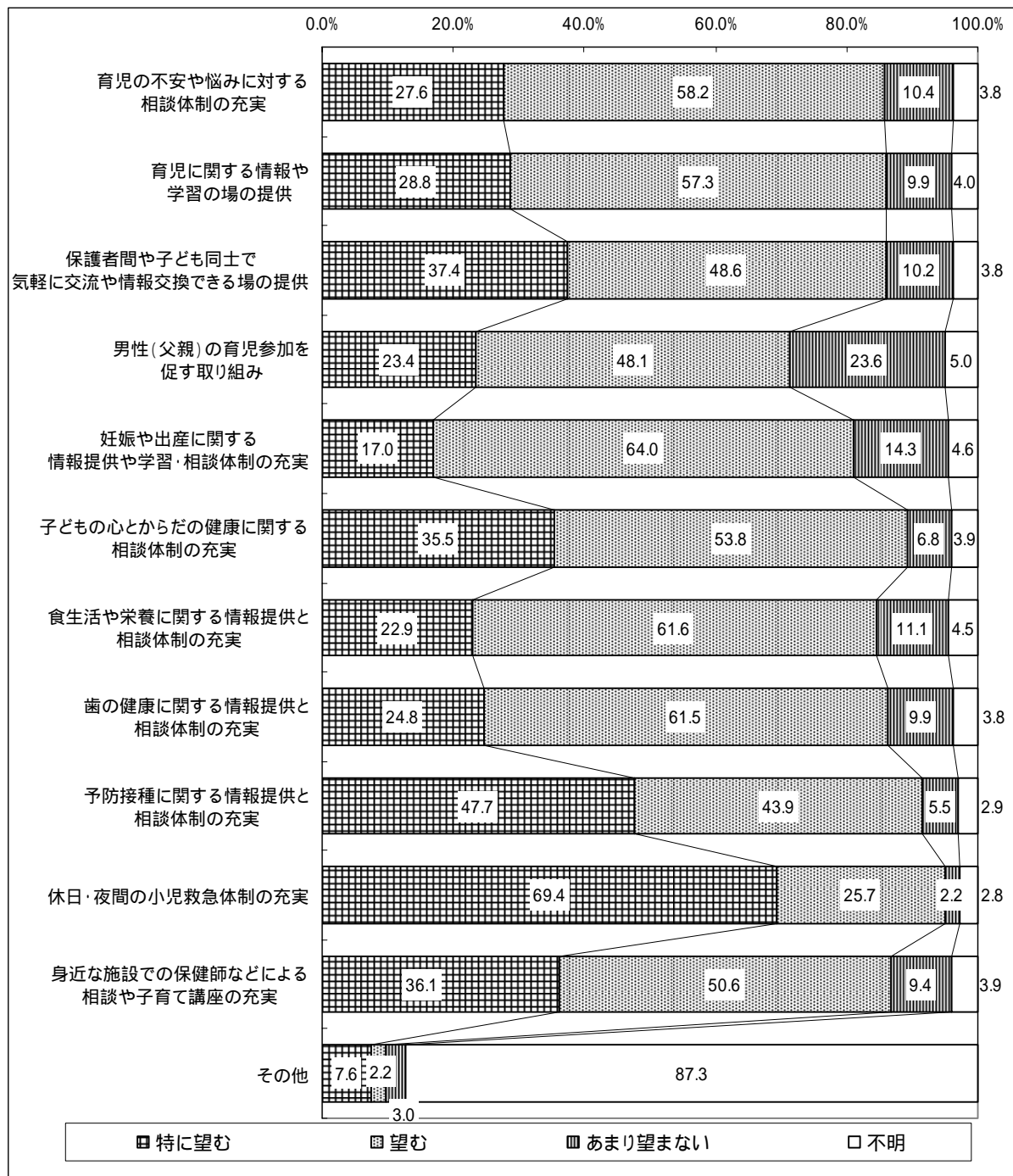


(4) 今後の母子保健サービスに望む内容

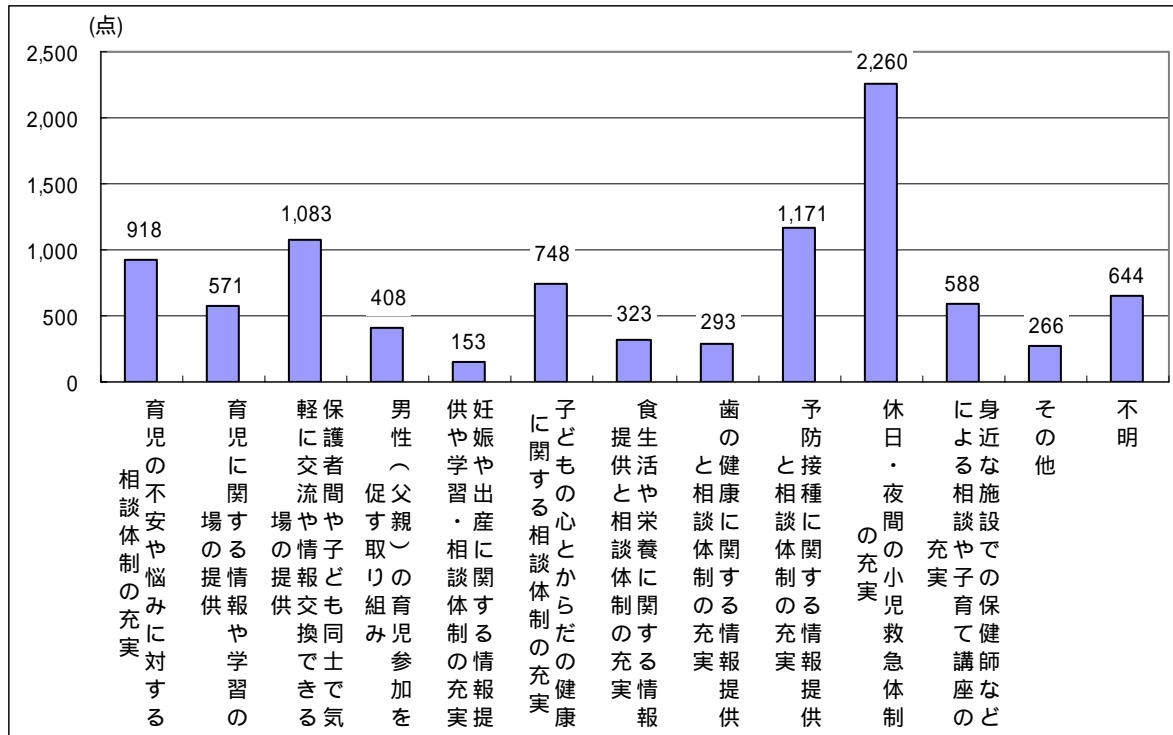
今後の母子保健サービスに望む内容としては、「休日・夜間の小児救急体制の充実」という項目は「特に望む」声が69.4%と多くなっています。

今後の母子保健サービスに望む内容として、1位を3点、2位を2点、3位を1点として指標化した結果、「休日・夜間の小児救急体制の充実」が2,260点と最も高くなっています。(図表79)

図表 79 今後の母子保健サービスに望む内容 [N=1,571]



図表 80 今後の母子保健サービスに望む内容（上位3つまで） [N=1,571]

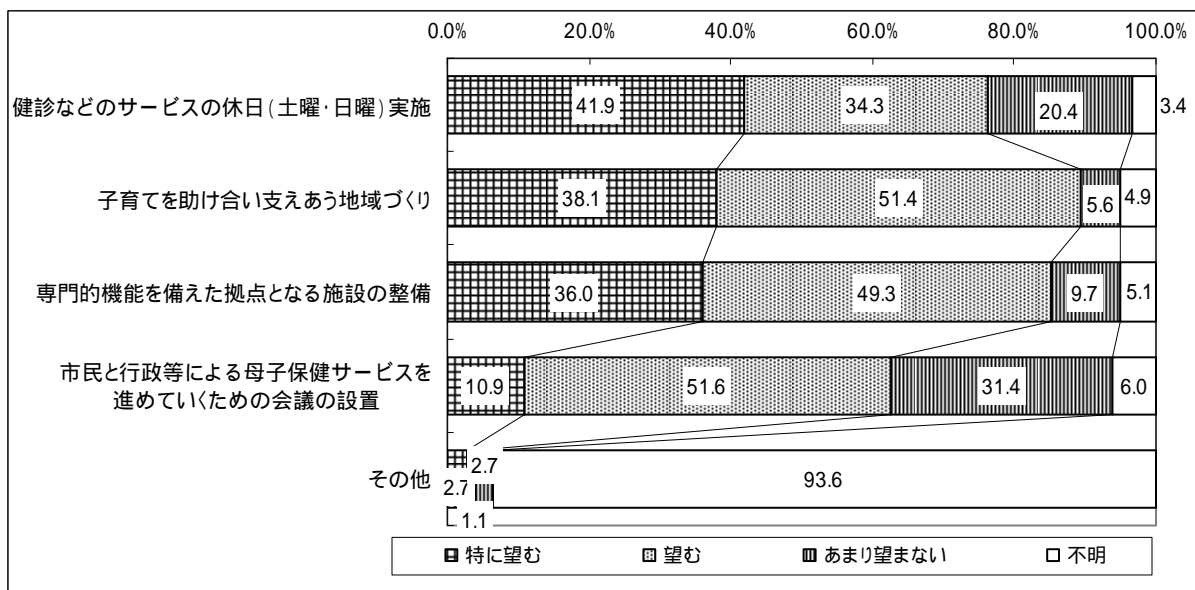


* 1位を3点、2位を2点、3位を1点として換算

(5) 今後の母子保健サービスの方法・体制に望むこと

今後の母子保健サービスの方法・体制について、「特に望む」こととして、「健診などのサービスの休日実施」が多く、41.9%となっています。また、「子育てを助け合い支えあう地域づくり」は38.1%、「専門的機能を備えた拠点となる施設の整備」は36.0%となっています。

図表 81 今後の母子保健サービスの方法・体制に望むこと [N=1,571]



5 . 自由記載の概要

(1) 母子保健サービスに関する意見・要望について

母子保健サービスに関する回答者の主な意見・要望は下記の通りです。

図表 82 母子保健サービスに関する主な意見・要望

(保健・医療にかかる費用負担について)

- 関東の自治体と比べ健診費が高く、金銭的な支援が必要である。
- 乳幼児医療助成を小学校低学年くらいまで延長してほしい。
- 12歳未満の医療費全額無料をお願いしたい。
- インフルエンザ等の予防接種を無償化、もしくは割引対象としてほしい。

(予防接種に関する情報について)

- 予防接種について、何を受けるべきか相談に乗ってほしい。
- 予防接種手帳が非常に分かりにくく、種類が多すぎる。スケジュールがややこしい。もっと簡潔にまとめたパンフなどにしてほしい

(乳幼児健診の実施方法について)

- 乳幼児健診は午前中にも実施してほしい。
- 乳幼児健診は指定時間に行ってもかなり時間がかかるので改善してほしい。
- 子どもを2人以上連れて行く場合に面倒をみってくれる支援やスペースがあるとありがたい。
- 2歳児向けの乳幼児健診も必要である。健診の回数も増やしてほしい。
- 乳幼児健診に行くと風邪をひくので、そのようなことが起こらない環境整備を進めてほしい。
- 健診時に母乳相談、育児相談ができる助産師と関わりが出来るとうありがたい。

(喫煙について)

- 子どもが行き来するような場所を歩きタバコの禁止地域に指定してほしい。
- 飲食店での分煙を推進してほしい。

(その他の意見・要望について)

- 病院と診療内容に関する情報発信をしてほしい。
- どこから情報が得られるかわかるようにしてほしい。
- 救急病院の数を増やしてほしい。
- マタニティマークの認知度を高める取組をしてほしい。
- 新生児期を過ぎてからも保健師の自宅訪問サービスがあるとありがたい。
- 母親が健診を受ける際の託児サービスが必要である。
- 自宅を訪問してくれる保健師の指導内容が異なると不安になる。

(2) 子育て支援に関する意見・要望について

子育て支援に関する回答者の主な意見・要望は下記の通りです。

図表 83 子育て支援に関する主な意見・要望

(保育園・幼稚園等について)

- 乳児の待機児童を解消してほしい。
- 希望の保育園に入れるような仕組みに整えてほしい。
- 保育所などの一時保育サービスを利用したくても、金額が高く気軽に利用できない。保育園料も下げてほしい。
- 私立幼稚園児への助成を充実させてほしい。
- 認可保育園の増設を希望する。

(保育サービスについて)

- 子育て支援センターを日曜日も開放してほしい。また、年齢別に利用できる設備を分けるような工夫が必要である。
- 夜間や休日保育サービスの充実が必要である。
- 病児保育・病後児保育サービスを充実させてほしい。
- ベビーシッターを行政が紹介する仕組みをつくってほしい。(安心して利用できるように)
- 地域支援センターの地域担当保育士を数年で交代させるのはやめてほしい。
- 福岡市では、母親がつくったサークル活動に市の保健師を派遣するような仕組みがあるので、本市でもより地域に密着した行政支援を充実させてほしい。
- 行政が中心的役割を担うのではなく、地域で子育てができる体制を充実させるべきである。

(子育て支援クラス・子育てサークル等について)

- 子ども向けのサークル活動の回数をもっと増やしてほしい。また、休日も利用できるようにしてほしい。
- 保育所の子育て支援クラスについて、月齢の小さい子ども向けの回数を増やしてほしい。
- 1歳育ち等、講座を抽選でなく、希望者全員が参加できるようにしてほしい。

(子どもが遊べる場所について)

- 気軽に子どもを遊ばせるスペースと広い施設が近くにほしい。
- 近所にプレイルームのような施設がほしい。
- 0-2歳児が遊べる場所が必要である。0歳児向けの交流の場を増やしてほしい。
- 公園を充実させてほしい。

(児童館等の施設について)

- 交通の便のよいコラボに児童館をつくってほしい。

- 緑地公園駅周辺の児童館を充実させてほしい。
- 学童保育の時間を延長してほしい。仕事をしているので、短くても 19 時までには延長を希望する。

(保護者を直接支援するサービスについて)

- 保護者が病気になった時に子育てを支援してくれる仕組みがほしい。
- 子育て中の母親がリフレッシュできるサービスを提供してほしい。(例：ヨガ教室など)

(子育て関連の情報発信・共有について)

- 育児情報の対象家庭への発信をしてもらいたい。「とよなか」以外の子育て専門誌が必要である。
- 保護者の間で離乳食メニュー等の情報を共有できる場を充実させてほしい。

(3) その他の意見・要望について

その他の意見・要望は下記の通りです。

図表 84 その他の意見・要望

(保護者の特徴に合わせた支援について)

- 働く母親や自営業で勤務する母親のためのサービスを充実させてほしい。たとえば、健診の日程通知が2か月くらい前に届くが、2か月前では勤務調整が非常に難しい。
- 子育て支援に積極的な市内の企業を表彰するなどして、働く女性が子育てと仕事を両立しやすい雰囲気づくりを行ってほしい。
- 介護をしながら、子育てをしている世帯に配慮したサービスを提供してほしい。
- 第一子の母親とその他の母親で必要な子育てサービスを区別した方が良い。
- 病気の子どもを抱える保護者向けのメンタルサポートを期待している。

(特別なニーズのある子どもへの対応について)

- 健常ではないが、重症でない子どもの支援体制を充実させてほしい。
- ダウン症や発達障害の子どもに対する専門的スタッフを市役所においてほしい。
- 発達障害の子どもを抱えているので、発達テストが受けやすい環境を整えてほしい。

(市施策の地域的な偏りについて)

- 市役所主催のイベントは岡町などの特定の地域に偏っているので改善してほしい。特に市内東部でのサービスを充実させた方がよい。

(バリアフリー環境の整備について)

- ベビーカーの移動がしやすいようにエレベーターやエスカレーターを充実させてほしい。

(市役所からの情報発信について)

- 市事業の対象となる家庭への情報発信を充実させてほしい。
- 他の地域から転入してきた家庭への情報発信を配慮してほしい。

(中学校給食について)

- 中学校給食を導入してほしい。